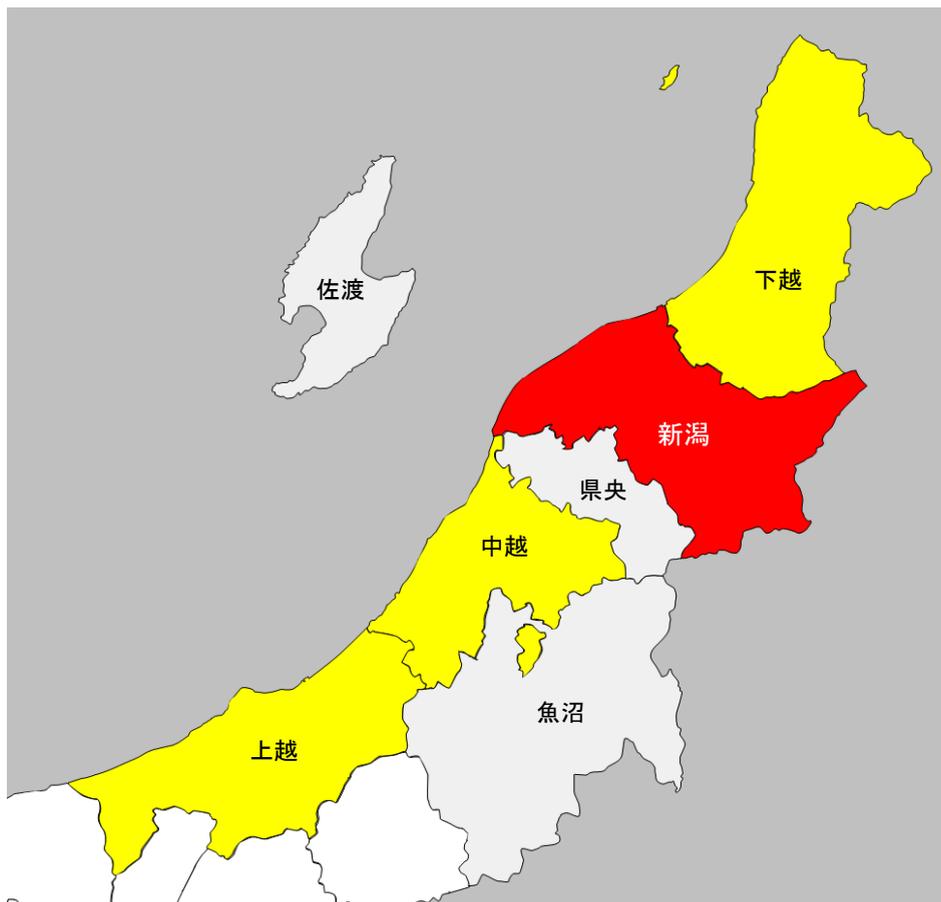


15. 新潟県



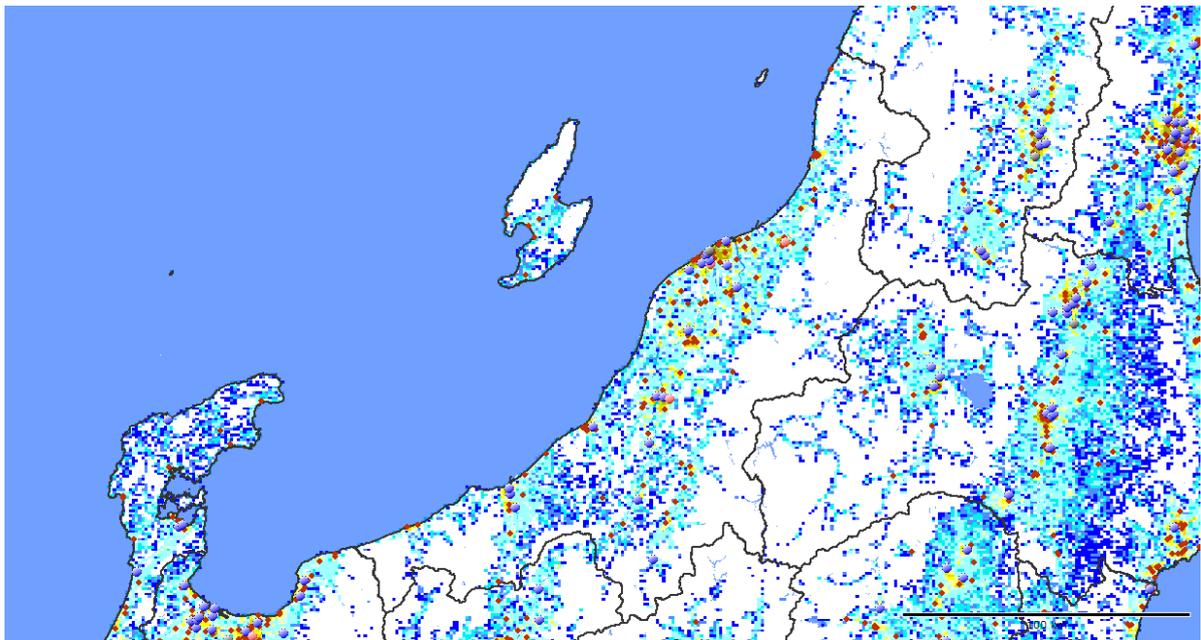
(注) 魚沼市は、平成25年の医療圏組み換え時に中越医療圏となったが、上の地図には反映されていない。

目次

新潟県	15	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	15	-	8
1. 下越医療圏	15	-	20
2. 新潟医療圏	15	-	25
3. 県央医療圏	15	-	30
4. 中越医療圏	15	-	35
5. 魚沼医療圏	15	-	40
6. 上越医療圏	15	-	45
7. 佐渡医療圏	15	-	50

15. 新潟県

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院



(新潟県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など：新潟県は、総人口約2304千人(2015年)、面積12584km²、人口密度は183人/km²である。

*人口の将来予測：新潟県の総人口は2025年に2112千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に1791千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の359千人が、2025年にかけて427千人へと増加し(2015年比+19%)、2040年には426千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費：新潟県の一人当たり医療費(国保)は352千円(偏差値52)、介護給付費は289千円(偏差値60)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度：新潟県の一人当たり急性期医療密度指数²は1.03、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.82で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状：総医師数³の偏差値が44(病院医師数45、診療所医師数43)と、総医師数と診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は49と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状：人口当たりの一般病床の偏差値は52で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は48と全国平均レベルである。

*療養病床の現状：人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状：総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

*精神病床の現状：人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状：人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状：新潟県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、36550人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が27734床(偏差値63)、高齢者住宅等が8816床(偏差値39)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、29606人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設59、特別養護老人ホーム60、介護療養型医療施設51、有料老人ホーム42、軽費ホーム47、グループホーム46、サ高住42である。

*在宅ケアの現状：在宅療養支援診療所は偏差値39と少なく、在宅療養支援病院は偏差値43と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値37と少ない。介護職員(在宅)の合計は、2935人(75歳以上1000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測：2025年の介護充足度指数⁴は-3%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

新潟県の総人口は、2005年2431459人が、2015年に2304264人と5%減少し、2025年の人口が2112473人と予測され、2005年→2025年の間に13%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

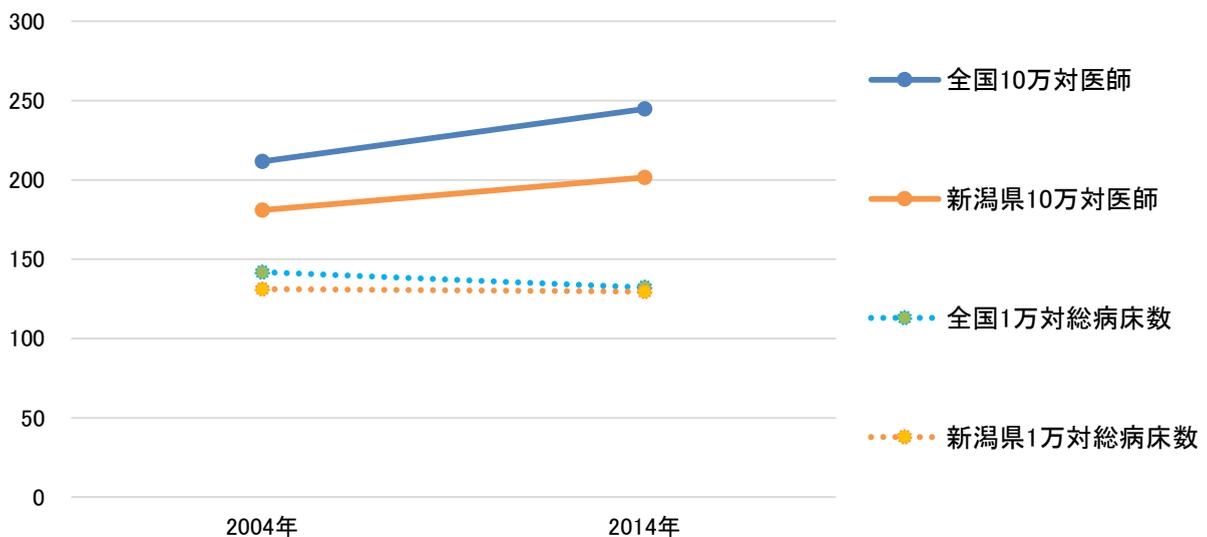
2004年の病院数が139(人口10万人当たり5.7病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2014年に131(人口10万人当たり5.7病院(全国平均6.7)偏差値48)となり、10年間で8病院が減少した。

2004年の診療所数が1719(人口10万人当たり71診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2014年に1687(人口10万人当たり73診療所(全国平均79)偏差値47)と、32診療所が減少した。

2004年の総病床数が31894床(人口1万人当たり131(全国平均142)偏差値48)であったが、2014年に29851床(人口1万人当たり130(全国平均132)偏差値50)と、2043床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

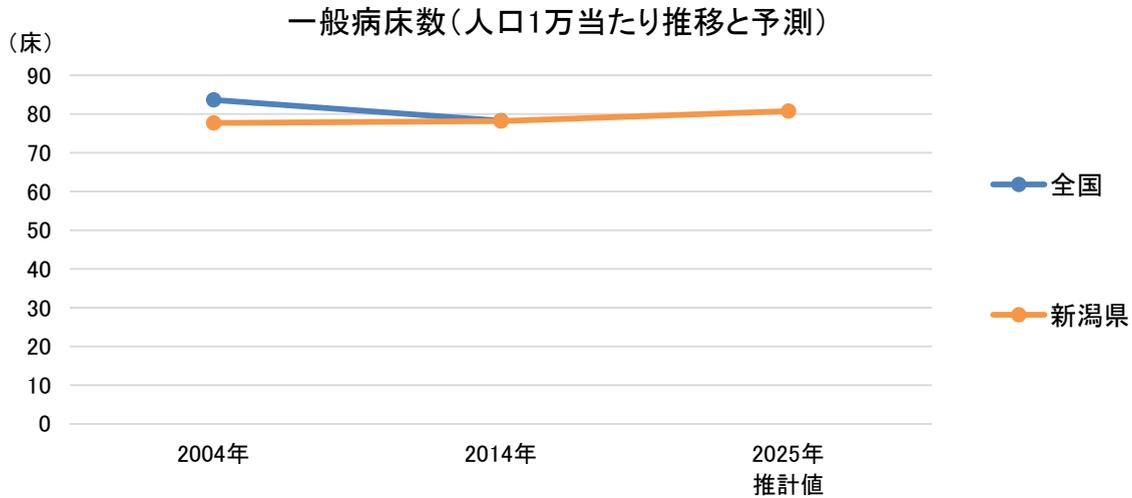
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が4400人(人口10万人当たり181人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2014年に4646人(人口10万人当たり202人(全国平均245人)偏差値45)と、246人の増加、率にして6%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



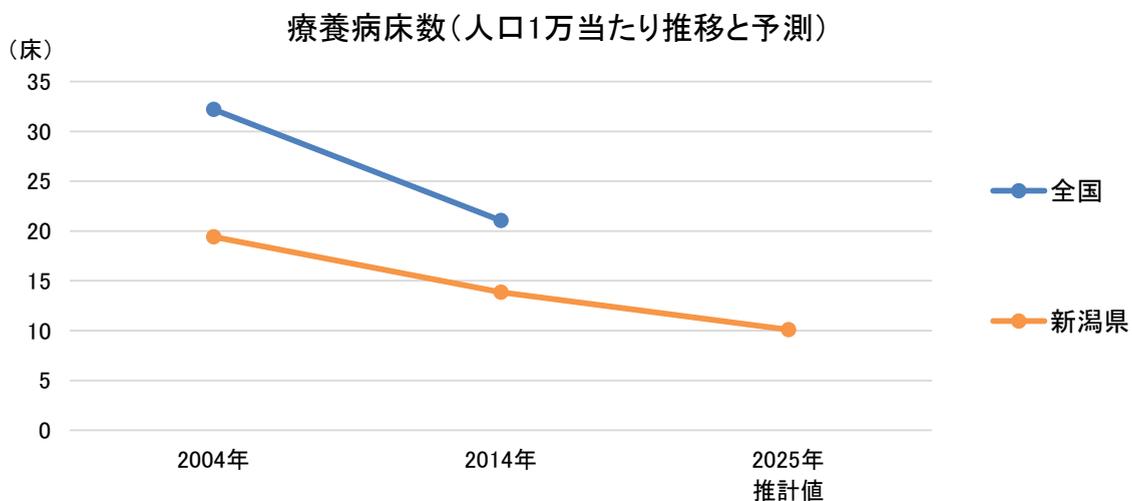
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が18885床(人口1万人当たり78(全国平均84)偏差値48)であったが、2014年に18018床(人口1万人当たり78(全国平均78)偏差値50)と、867床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には17064床(2025年の推計人口1万人当たり81)になることが予想される。



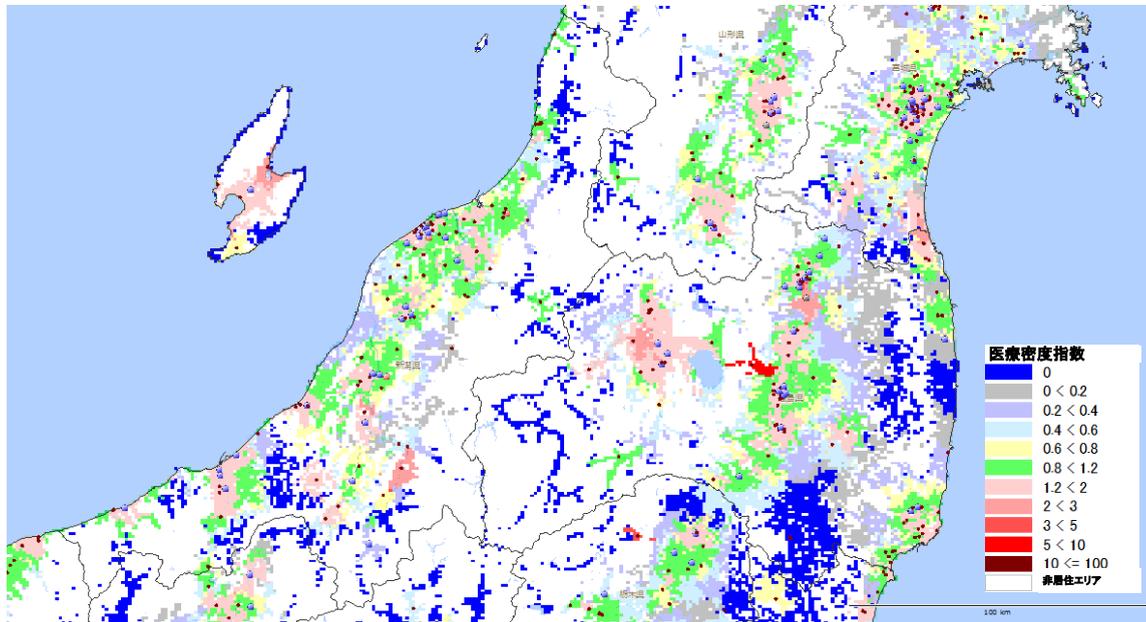
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が5581床(75歳以上1000人当たり19(全国平均32)偏差値43)であったが、2014年に4977床(75歳以上1000人当たり14(全国平均21)偏差値44)と、604床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には4313床(2025年の推計75歳以上1000人当たり10)になることが予想される。



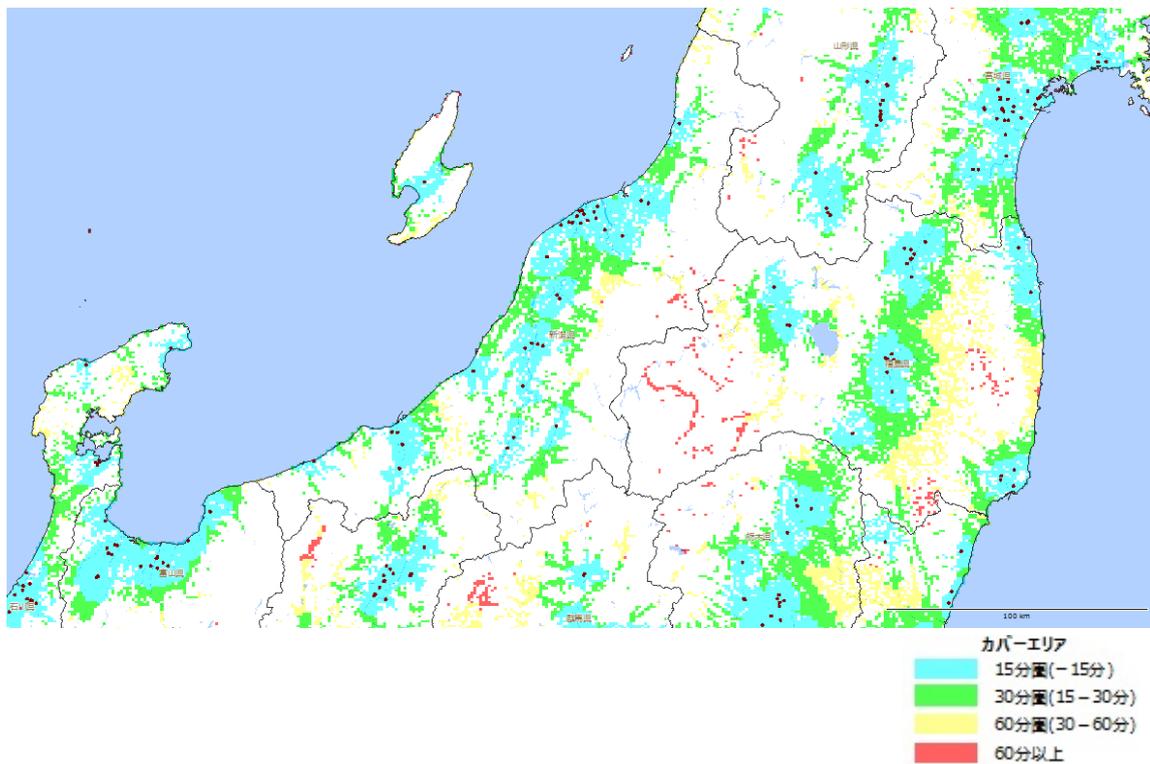
(新潟県) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表15-1 急性期医療密度指数マップ



図表15-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料⁶

※2017年版では、人口に関わる指標（偏差値等）については、2015年人口に基づいた計算を行っている。

資_図表 15-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		26%	120,700	107,439	16,126	21,775	22,232	-5%	-11%	35%	2%
新潟県	2,304	15位	12,584	5位	183.1		30%	2,112	1,791	359	427	426	-8%	-15%	19%	0%
下越	211	9%	2,319	18%	91.2	地方都市型	32%	186	150	36	40	38	-12%	-19%	11%	-5%
新潟	917	40%	2,224	18%	412.2	地方都市型	28%	855	745	127	163	169	-7%	-13%	28%	4%
県央	227	10%	734	6%	309.8	地方都市型	30%	207	172	35	42	41	-9%	-17%	20%	-2%
中越	448	19%	1,637	13%	273.9	地方都市型	30%	413	350	70	83	82	-8%	-15%	19%	-1%
魚沼	169	7%	2,649	21%	63.8	過疎地域型	33%	152	125	31	35	35	-10%	-18%	13%	0%
上越	274	12%	2,166	17%	126.7	地方都市型	32%	251	210	46	53	50	-8%	-16%	15%	-6%
佐渡	57	2%	856	7%	66.9	過疎地域型	40%	49	37	14	13	11	-14%	-24%	-7%	-15%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月1日															

資_図表 15-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,456,851	1,772,098	-21.6%
新潟県	1.03	0.82	33,889	34,743	-2.5%
下越	0.75	0.98	3,489	3,219	7.7%
新潟	1.06	1.01	11,872	13,235	-11.5%
県央	0.85	0.71	3,095	3,386	-9.4%
中越	1.12	0.64	6,558	6,714	-2.4%
魚沼	0.96	0.20	2,816	2,833	-0.6%
上越	1.25	0.72	4,879	4,276	12.4%
佐渡	0.76	1.95	1,180	1,078	8.6%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				

資_図表 15-3 医療費、介護給付費⁷

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	343	(44)	1.000	131	(30)	1.000	188	(19)	1.000	253	(35)
新潟県	352	52	0.959	136	52	0.981	190	51	0.942	289	60
下越	355	53	0.964	130	50	0.922	198	55	0.979	275	56
新潟	350	52	0.966	136	52	0.983	188	50	0.942	291	61
県央	346	51	0.940	133	51	0.949	188	50	0.932	265	53
中越	351	52	0.933	139	53	0.969	188	50	0.909	277	57
魚沼	305	41	0.848	119	46	0.865	167	39	0.847	308	66
上越	394	61	1.017	151	57	1.024	218	66	1.023	319	69
佐渡	343	50	0.910	140	53	0.969	182	47	0.880	306	65
出典	<一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成27年度介護保険事業状況報告(年報) 平成27年度累計(平成27年3月サービス分から平成28年2月サービス分まで)										

※後期高齢者の医療費については、資_図表15-35を参照。

資_図表 15-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,480		6.7	(4.1)	100,995		79	(18.8)
新潟県	132	1.6%	5.7	48	1,694	1.7%	74	47
下越	17	13%	8.0	53	155	9%	73	47
新潟	50	38%	5.5	47	727	43%	79	50
県央	10	8%	4.4	44	172	10%	76	48
中越	20	15%	4.5	45	310	18%	69	45
魚沼	15	11%	8.9	55	103	6%	61	40
上越	14	11%	5.1	46	187	11%	68	44
佐渡	6	5%	10.5	59	40	2%	70	45
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 15-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,995		79	(18.8)	93,034		73	(18.4)	7,961		6.3	(6.4)
新潟県	1,694	1.7%	74	47	1,635	1.8%	71	49	59	0.7%	2.6	44
下越	155	9%	73	47	149	9%	70	49	6	10%	2.8	45
新潟	727	43%	79	50	704	43%	77	52	23	39%	2.5	44
県央	172	10%	76	48	163	10%	72	49	9	15%	4.0	46
中越	310	18%	69	45	303	19%	68	47	7	12%	1.6	43
魚沼	103	6%	61	40	98	6%	58	42	5	8%	3.0	45
上越	187	11%	68	44	178	11%	65	45	9	15%	3.3	45
佐渡	40	2%	70	45	40	2%	70	48	0	0%	0	40
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 15-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院				診療所				病院+診療所			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,565,968		1,232	(497)	107,626		85	(101)	1,673,594		1,317	(557)
新潟県	28,794	1.8%	1,250	50	732	0.7%	32	45	29,526	1.8%	1,281	49
下越	2,583	9%	1,221	50	59	8%	28	44	2,642	9%	1,249	49
新潟	12,005	42%	1,310	52	282	39%	31	45	12,287	42%	1,340	50
県央	2,143	7%	943	44	118	16%	52	47	2,261	8%	995	44
中越	6,036	21%	1,346	52	91	12%	20	44	6,127	21%	1,366	51
魚沼	2,130	7%	1,261	51	56	8%	33	45	2,186	7%	1,294	50
上越	3,155	11%	1,150	48	126	17%	46	46	3,281	11%	1,196	48
佐渡	742	3%	1,296	51	0	0%	0	42	742	3%	1,296	50
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 15-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般病床				療養病床				精神病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	893,970		703	(227)	328,406		258	(209)	336,282		265	(217)
新潟県	17,092	1.9%	742	52	4,922	1.5%	214	48	6,680	2.0%	290	51
下越	1,278	7%	604	46	545	11%	258	50	756	11%	357	54
新潟	6,926	41%	756	52	2,467	50%	269	51	2,574	39%	281	51
県央	1,357	8%	597	45	546	11%	240	49	240	4%	106	43
中越	3,588	21%	800	54	841	17%	188	47	1,567	23%	349	54
魚沼	1,293	8%	765	53	283	6%	168	46	550	8%	326	53
上越	2,156	13%	786	54	154	3%	56	40	835	13%	304	52
佐渡	494	3%	863	57	86	2%	150	45	158	2%	276	51
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 15-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期				地域包括			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	73,304		58	(47)	61,433		58	(56)
新潟県	981	1.3%	43	47	1,277	2.1%	55	49
下越	48	5%	23	43	157	12%	74	53
新潟	510	52%	56	50	767	60%	84	54
県央	120	12%	53	49	128	10%	56	50
中越	205	21%	46	47	8	1%	2	40
魚沼	0	0%	0	38	94	7%	56	50
上越	98	10%	36	45	73	6%	27	44
佐渡	0	0%	0	38	50	4%	87	55
出典	平成27年度病床機能報告 平成27年7月				平成29年5月地方厚生局			

資_図表 15-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
新潟県	13,294	11,519	572	15,366	5,421	4,374	68.0%	57	11.6%	51
下越	1,083	988	46	1,500	290	499	77.3%	60	8.4%	50
新潟	3,795	3,631	42	8,124	3,182	2,448	53.3%	50	1.7%	47
県央	1,129	1,099	30	1,066	310	516	78.0%	61	5.5%	48
中越	2,601	2,119	52	2,863	967	729	68.7%	57	6.7%	49
魚沼	1,652	1,177	295	989	515	100	69.6%	57	74.7%	78
上越	2,365	2,050	55	790	157	48	92.9%	67	53.4%	69
佐渡	669	455	52	34	0	34	100.0%	70	60.5%	72

出典 地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む)
公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。

資_図表 15-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数				分娩件数			
	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	2,818,920		2,218	(1,031)	1,022,592		805	(283)
新潟県	46,800	1.7%	2,031	48	20,316	2.0%	882	53
下越	3,792	8%	1,793	46	2,016	10%	953	55
新潟	22,656	48%	2,472	52	7,920	39%	864	52
県央	3,264	7%	1,436	42	2,268	11%	998	57
中越	9,456	20%	2,109	49	3,900	19%	870	52
魚沼	2,124	5%	1,257	41	1,380	7%	817	50
上越	4,608	10%	1,680	45	2,388	12%	870	52
佐渡	900	2%	1,572	44	444	2%	775	49

出典 平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月

資_図表 15-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	345,356		272	(89)	214,678		169	(65)	130,678		103	(31)
新潟県	4,953	1.4%	215	44	3,088	1.4%	134	45	1,866	1.4%	81	43
下越	372	7%	176	39	218	7%	103	40	153	8%	72	40
新潟	2,432	49%	265	49	1,557	50%	170	50	875	47%	95	48
県央	362	7%	159	37	166	5%	73	35	196	11%	86	45
中越	875	18%	195	41	553	18%	123	43	321	17%	72	40
魚沼	307	6%	182	40	211	7%	125	43	97	5%	57	35
上越	506	10%	184	40	313	10%	114	42	193	10%	70	39
佐渡	101	2%	176	39	70	2%	123	43	30	2%	53	34

出典 病院医師数と診療所医師数の合計 平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月

平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月

資_図表 15-12 専門医数 (総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科				小児科				産婦人科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.3	(6.5)	12,494		9.8	(4.5)	10,443		8.2	(3.7)
新潟県	276	1.8%	12.0	49	187	1.5%	8.1	46	150	1.4%	6.5	45
下越	19	7%	9.0	45	10	5%	4.7	39	8	5%	3.8	38
新潟	158	57%	17.2	58	99	53%	10.8	52	92	61%	10.0	55
県央	15	5%	6.6	41	18	10%	7.9	46	6	4%	2.6	35
中越	38	14%	8.5	44	38	20%	8.5	47	25	17%	5.6	43
魚沼	9	3%	5.3	39	6	3%	3.6	36	7	5%	4.1	39
上越	34	12%	12.4	50	15	8%	5.5	40	12	8%	4.4	40
佐渡	3	1%	5.2	39	1	1%	1.7	32	0	0%	0	28
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 15-13 専門医数 (皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.1)	7,466		5.9	(2.5)
新潟県	78	1.5%	3.4	46	150	1.6%	6.5	47	106	1.4%	4.6	45
下越	7	9%	3.3	46	11	7%	5.2	43	7	7%	3.3	40
新潟	47	60%	5.1	55	84	56%	9.2	56	62	58%	6.8	53
県央	4	5%	1.8	38	12	8%	5.3	43	10	9%	4.4	44
中越	8	10%	1.8	39	24	16%	5.4	43	14	13%	3.1	39
魚沼	3	4%	1.8	39	5	3%	3.0	36	2	2%	1.2	32
上越	8	10%	2.9	44	12	8%	4.4	40	11	10%	4.0	43
佐渡	1	1%	1.7	38	2	1%	3.5	37	0	0%	0	27
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 15-14 専門医数 (精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.0	(6.9)	15,369		12.1	(4.4)
新潟県	96	1.2%	4.2	43	260	1.3%	11.3	43	252	1.6%	10.9	47
下越	6	6%	2.8	39	19	7%	9.0	40	28	11%	13.2	53
新潟	44	46%	4.8	45	133	51%	14.5	48	120	48%	13.1	52
県央	3	3%	1.3	35	15	6%	6.6	36	25	10%	11.0	48
中越	29	30%	6.5	50	46	18%	10.3	42	44	17%	9.8	45
魚沼	5	5%	3.0	40	11	4%	6.5	36	10	4%	5.9	36
上越	6	6%	2.2	38	33	13%	12.0	44	24	10%	8.7	42
佐渡	3	3%	5.2	46	3	1%	5.2	34	1	0%	1.7	27
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 15-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.0)	6,376		5.0	(2.3)	5,300		4.2	(2.9)
新潟県	70	1.2%	3.0	43	114	1.8%	4.9	50	79	1.5%	3.4	47
下越	7	10%	3.3	44	10	9%	4.7	49	2	3%	0.9	39
新潟	37	53%	4.0	48	55	48%	6.0	54	54	68%	5.9	56
県央	4	6%	1.8	37	7	6%	3.1	42	0	0%	0	36
中越	15	21%	3.3	44	19	17%	4.2	47	11	14%	2.5	44
魚沼	0	0%	0	28	6	5%	3.6	44	0	0%	0	36
上越	6	9%	2.2	39	15	13%	5.5	52	12	15%	4.4	51
佐渡	1	1%	1.7	36	2	2%	3.5	43	0	0%	0	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 15-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.0)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
新潟県	71	1.1%	3.1	43	20	1.3%	0.9	46	36	1.1%	1.6	44
下越	7	10%	3.3	44	2	10%	0.9	47	3	8%	1.4	43
新潟	43	61%	4.7	48	9	45%	1.0	47	25	69%	2.7	51
県央	5	7%	2.2	40	0	0%	0	37	0	0%	0	35
中越	9	13%	2.0	40	5	25%	1.1	49	3	8%	0.7	39
魚沼	3	4%	1.8	39	1	5%	0.6	43	1	3%	0.6	38
上越	4	6%	1.5	38	3	15%	1.1	49	4	11%	1.5	43
佐渡	0	0%	0	33	0	0%	0	37	0	0%	0	35
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 15-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科				リハビリテーション科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
新潟県	25	1.3%	1.1	46	35	1.5%	1.5	47
下越	1	4%	0.5	41	4	11%	1.9	50
新潟	17	68%	1.9	53	21	60%	2.3	53
県央	1	4%	0.4	40	1	3%	0.4	39
中越	3	12%	0.7	42	6	17%	1.3	46
魚沼	0	0%	0	37	3	9%	1.8	49
上越	3	12%	1.1	46	0	0%	0	36
佐渡	0	0%	0	37	0	0%	0	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

資_図表 15-18 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,114,100		877	(286)	916,998		722	(240)	197,102		155	(73)
新潟県	19,851	1.8%	861	49	16,455	1.8%	714	50	3,396	1.7%	147	49
下越	1,744	9%	825	48	1,377	8%	651	47	367	11%	174	53
新潟	8,708	44%	950	53	7,131	43%	778	52	1,577	46%	172	52
県央	1,468	7%	646	42	1,104	7%	486	40	364	11%	160	51
中越	3,964	20%	884	50	3,424	21%	764	52	539	16%	120	45
魚沼	1,314	7%	778	47	1,125	7%	666	48	189	6%	112	44
上越	2,201	11%	802	47	1,890	11%	689	49	311	9%	113	44
佐渡	452	2%	790	47	405	2%	707	49	48	1%	83	40
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 15-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	126,125		99	(53)	288,151		227	(91)
新潟県	1,736	1.4%	75	46	4,247	1.5%	184	45
下越	146	8%	69	44	323	8%	153	42
新潟	860	50%	94	49	2,061	49%	225	50
県央	108	6%	47	40	380	9%	167	43
中越	338	19%	75	46	718	17%	160	43
魚沼	100	6%	59	43	224	5%	133	40
上越	159	9%	58	42	472	11%	172	44
佐渡	25	1%	44	40	69	2%	121	38
出典	平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資_図表 15-20 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	13,255		0.8	(0.4)	1,210		0.1	(0.1)	10,420		0.6	(0.2)
新潟県	125	0.9%	0.3	39	12	1.0%	0.0	43	138	1.3%	0.4	37
下越	4	3%	0.1	33	2	17%	0.1	47	10	7%	0.3	32
新潟	44	35%	0.3	39	5	42%	0.0	44	56	41%	0.4	40
県央	6	5%	0.2	35	0	0%	0	38	17	12%	0.5	42
中越	27	22%	0.4	40	0	0%	0	38	22	16%	0.3	34
魚沼	11	9%	0.3	39	4	33%	0.1	58	15	11%	0.5	42
上越	32	26%	0.7	47	1	8%	0.0	41	16	12%	0.3	35
佐渡	1	1%	0.1	33	0	0%	0	38	2	1%	0.1	25
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成29年5月			

資_図表 15-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険 施設定員 (病床)数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	高齢者 住宅 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,674,440		104	(17)	992,340		62	(12)	682,100		42	(16)
新潟県	36,550	2.2%	102	49	27,734	2.8%	77	63	8,816	1.3%	25	39
下越	3,665	10%	101	48	2,918	11%	81	65	747	8%	21	36
新潟	12,890	35%	101	49	10,250	37%	81	66	2,640	30%	21	36
県央	3,277	9%	95	45	2,551	9%	74	60	726	8%	21	37
中越	7,169	20%	103	49	4,804	17%	69	56	2,365	27%	34	45
魚沼	3,026	8%	96	45	2,294	8%	73	59	732	8%	23	38
上越	5,291	14%	114	56	3,827	14%	82	67	1,464	17%	32	43
佐渡	1,232	3%	90	42	1,090	4%	79	65	142	2%	10	30
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 15-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム (特養) 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	364,437		23	(5.8)	563,306		35	(9.7)	64,597		4.0	(4.1)
新潟県	10,012	2.7%	28	59	16,093	2.9%	45	60	1,629	2.5%	4.5	51
下越	1,105	11%	31	64	1,498	9%	41	57	315	19%	8.7	61
新潟	4,062	41%	32	66	5,599	35%	44	59	589	36%	4.6	52
県央	982	10%	28	60	1,328	8%	38	54	241	15%	7.0	57
中越	1,468	15%	21	47	2,890	18%	41	57	446	27%	6.4	56
魚沼	603	6%	19	44	1,653	10%	53	68	38	2%	1.2	43
上越	1,392	14%	30	63	2,435	15%	52	68	0	0%	0	40
佐渡	400	4%	29	61	690	4%	50	66	0	0%	0	40
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 15-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	230,505		14.3	(10.8)	23,117		1.4	(2.1)	195,525		12.1	(5.8)
新潟県	2,004	0.9%	5.6	42	314	1.4%	0.9	47	3,472	1.8%	9.7	46
下越	80	4%	2.2	39	80	25%	2.2	54	411	12%	11.4	49
新潟	593	30%	4.7	41	75	24%	0.6	46	900	26%	7.1	41
県央	197	10%	5.7	42	0	0%	0	43	297	9%	8.6	44
中越	793	40%	11.3	47	29	9%	0.4	45	772	22%	11.0	48
魚沼	30	1%	1.0	38	80	25%	2.5	55	363	10%	11.5	49
上越	311	16%	6.7	43	50	16%	1.1	48	639	18%	13.8	53
佐渡	0	0%	0	37	0	0%	0	43	90	3%	6.6	40
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 15-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住) 定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
新潟県	3,026	1.3%	8.4	42	365	2.4%	1.0	50	2,661	1.2%	7.4	41
下越	176	6%	4.9	37	0	0%	0	44	176	7%	4.9	37
新潟	1,072	35%	8.4	42	54	15%	0.4	47	1,018	38%	8.0	42
県央	232	8%	6.7	39	50	14%	1.4	53	182	7%	5.3	38
中越	771	25%	11.0	45	160	44%	2.3	58	611	23%	8.7	43
魚沼	259	9%	8.2	41	49	13%	1.6	54	210	8%	6.7	40
上越	464	15%	10.0	44	52	14%	1.1	51	412	15%	8.9	43
佐渡	52	2%	3.8	35	0	0%	0	44	52	2%	3.8	36
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成29年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 15-25 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
新潟県	3,324	2.0%	9.3	46	2,706	2.3%	7.5	51	618	1.3%	1.7	38
下越	375	11%	10.3	50	342	13%	9.5	60	32	5%	0.9	29
新潟	1,235	37%	9.7	48	970	36%	7.6	51	265	43%	2.1	42
県央	343	10%	9.9	49	273	10%	7.9	52	71	11%	2.0	41
中越	637	19%	9.1	45	515	19%	7.4	50	122	20%	1.7	38
魚沼	241	7%	7.6	39	185	7%	5.9	43	55	9%	1.8	38
上越	407	12%	8.8	44	342	13%	7.4	50	65	10%	1.4	35
佐渡	88	3%	6.4	33	79	3%	5.7	42	9	1%	0.7	27
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 15-26 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サー ビス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
新潟県	32,541	2.2%	91	50	29,606	2.4%	82	55	2,935	1.3%	8.2	40
下越	2,998	9%	83	44	2,769	9%	76	50	229	8%	6.3	37
新潟	11,587	36%	91	51	10,358	35%	82	54	1,228	42%	9.7	42
県央	3,098	10%	90	49	2,855	10%	83	55	242	8%	7.0	38
中越	6,075	19%	87	47	5,591	19%	80	53	484	16%	6.9	38
魚沼	2,785	9%	89	49	2,596	9%	83	55	189	6%	6.0	36
上越	4,859	15%	105	61	4,434	15%	96	67	425	14%	9.2	42
佐渡	1,140	4%	83	44	1,003	3%	73	47	137	5%	10.0	43
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 15-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		66	(31)	450,441		28	(12)	1,480,879		92	(32)
新潟県	11,694	1.1%	33	39	7,225	1.6%	20	43	19,696	1.3%	55	38
下越	704	6%	19	35	398	6%	11	36	1,456	7%	40	34
新潟	4,620	40%	36	40	3,267	45%	26	48	8,215	42%	65	42
県央	443	4%	13	33	696	10%	20	43	1,472	7%	43	35
中越	2,433	21%	35	40	1,578	22%	23	45	3,839	19%	55	38
魚沼	741	6%	24	36	624	9%	20	43	1,283	7%	41	34
上越	2,628	22%	57	47	589	8%	13	37	2,485	13%	54	38
佐渡	125	1%	9	32	73	1%	5	31	946	5%	69	43
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 15-28 総人口の推移と医療需要⁸の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	120,699,960	-6%	12%	6%	18%
新潟県		2,431,459	2,304,264	-5%	2,112,473	-13%	5%	1%	6%
下越	地方都市型	229,106	211,493	-8%	185,626	-19%	3%	-4%	-1%
新潟	地方都市型	932,555	916,656	-2%	855,268	-8%	10%	4%	14%
県央	地方都市型	241,408	227,225	-6%	207,003	-14%	6%	0%	7%
中越	地方都市型	475,873	448,375	-6%	412,810	-13%	4%	1%	5%
魚沼	過疎地域型	189,374	168,912	-11%	152,483	-19%	-2%	-1%	-3%
上越	地方都市型	295,757	274,348	-7%	250,506	-15%	3%	-1%	2%
佐渡	過疎地域型	67,386	57,255	-15%	48,777	-28%	-6%	-10%	-16%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口・年齢(3区分)・割合・就業者数・昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

資_図表 15-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年 推計値
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
新潟県	139	5.7	46	131	5.7	48	-8	-6%	123
下越	14	6.1	47	17	8.0	53	3	21%	20
新潟	55	5.9	47	50	5.5	47	-5	-9%	45
県央	9	3.7	41	10	4.4	44	1	11%	11
中越	22	4.6	44	20	4.5	45	-2	-9%	18
魚沼	15	7.9	52	14	8.3	54	-1	-7%	13
上越	18	6.1	47	14	5.1	46	-4	-22%	10
佐渡	6	8.9	55	6	10.5	59	0	0%	6
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 15-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
新潟県	1,719	71	47	1,687	73	47	-32	-2%	1,654
下越	163	71	48	153	72	46	-10	-6%	142
新潟	711	76	50	728	79	50	17	2%	747
県央	168	70	47	173	76	48	5	3%	179
中越	322	68	46	307	68	44	-15	-5%	291
魚沼	106	56	40	102	60	40	-4	-4%	98
上越	208	70	47	186	68	44	-22	-11%	162
佐渡	41	61	42	38	66	43	-3	-7%	35
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 15-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	245	(94)	40,834	15%	356,135
新潟県	4,400	181	46	4,646	202	45	246	6%	4,917
下越	316	138	41	359	170	42	43	14%	406
新潟	2,214	237	53	2,419	264	52	205	9%	2,645
県央	335	139	41	312	137	39	-23	-7%	287
中越	750	158	44	786	175	43	36	5%	826
魚沼	230	121	39	204	121	37	-26	-11%	175
上越	461	156	43	471	172	42	10	2%	482
佐渡	94	139	41	95	166	42	1	1%	96
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資_図表 15-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	132	(56)	-131,929	-7%	1,535,514
新潟県	31,894	131	48	29,851	130	50	-2,043	-6%	27,604
下越	2,618	114	45	2,658	126	49	40	2%	2,702
新潟	13,154	141	50	12,373	135	50	-781	-6%	11,514
県央	2,406	100	42	2,364	104	45	-42	-2%	2,318
中越	6,684	140	50	6,149	137	51	-535	-8%	5,561
魚沼	2,338	123	47	2,270	134	50	-68	-3%	2,195
上越	3,845	130	48	3,295	120	48	-550	-14%	2,690
佐渡	849	126	47	742	130	50	-107	-13%	624
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 15-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	78	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
新潟県	18,885	78	48	18,018	78	50	-867	-5%	17,064	81
下越	1,441	63	43	1,353	64	45	-88	-6%	1,256	68
新潟	7,658	82	49	7,340	80	51	-318	-4%	6,990	82
県央	1,615	67	44	1,543	68	46	-72	-4%	1,464	71
中越	3,826	80	49	3,691	82	51	-135	-4%	3,543	86
魚沼	1,388	73	46	1,301	77	50	-87	-6%	1,205	79
上越	2,454	83	50	2,296	84	52	-158	-6%	2,122	85
佐渡	503	75	47	494	86	53	-9	-2%	484	99
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資_図表 15-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
新潟県	5,581	19	43	4,977	14	44	-604	-11%	4,313	10
下越	408	14	40	545	15	45	137	34%	696	18
新潟	2,642	28	48	2,421	19	48	-221	-8%	2,178	13
県央	497	19	42	581	17	46	84	17%	673	16
中越	1,065	18	42	851	12	42	-214	-20%	616	7
魚沼	350	12	39	339	11	41	-11	-3%	327	9
上越	435	11	38	154	3	35	-281	-65%	-155	-3
佐渡	184	15	40	86	6	37	-98	-53%	-22	-2
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

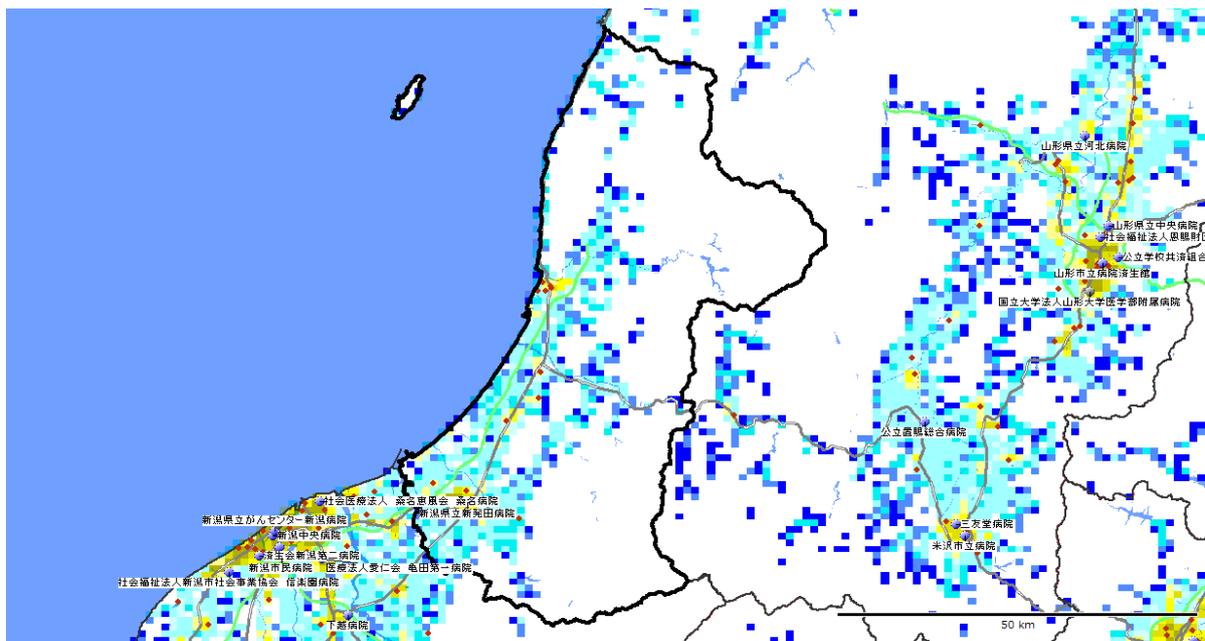
資_図表 15-35 後期高齢者の医療費・地域差指数⁷

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	
										全国
新潟県	748	35	0.805	345	38	0.745	374	34	0.861	
下越	730	33	0.776	328	37	0.700	375	34	0.852	
新潟	801	39	0.860	378	42	0.817	389	37	0.892	
県央	719	33	0.775	323	36	0.706	366	32	0.838	
中越	725	33	0.776	337	38	0.723	360	30	0.826	
魚沼	661	28	0.701	311	35	0.652	329	23	0.759	
上越	750	35	0.806	322	36	0.691	401	40	0.929	
佐渡	707	32	0.748	335	37	0.706	350	28	0.799	
出典	<一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省									

15-1. かえつ 下越医療圏

構成市区町村⁹ [新発田市](#) [村上市](#) [胎内市](#) [聖籠町](#)
[関川村](#) [粟島浦村](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(下越医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 下越(新発田市)は、総人口約211千人(2015年)、面積2319km²、人口密度は91人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 下越の総人口は2025年に186千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に150千人へと減少する(2025年比-19%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の36千人が、2025年にかけて40千人へと増加し(2015年比+11%)、2040年には38千人へと減少する(2025年比-5%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 下越の一人当たり医療費(国保)は355千円(偏差値53)、介護給付費は275千円(偏差値56)であり、医療費はやや高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 下越の一人当たり急性期医療密度指数²は0.75、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.98で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が39(病院医師数40、診療所医師数40)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は48と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は46で、一般病床数はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は46とやや少ない。下越には、年間全身麻酔件数が1000例以上の新潟県立新発田病院(Ⅱ群・救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値44と少なく、回復期病床数は偏差値43と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 下越の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3665人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が2918床(偏差値65)、高齢者住宅等が747床(偏差値36)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2769人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設64、特別養護老人ホーム57、介護療養型医療施設61、有料老人ホーム39、軽費ホーム54、グループホーム49、サ高住37である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値33と非常に少なく、在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値32と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、229人(75歳以上1000人当たりの偏差値37)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は+8%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(下越医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

下越医療圏の総人口は、2005年229106人が、2015年に211493人と8%減少し、2025年の人口が185626人と予測され、2005年→2025年の間に19%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

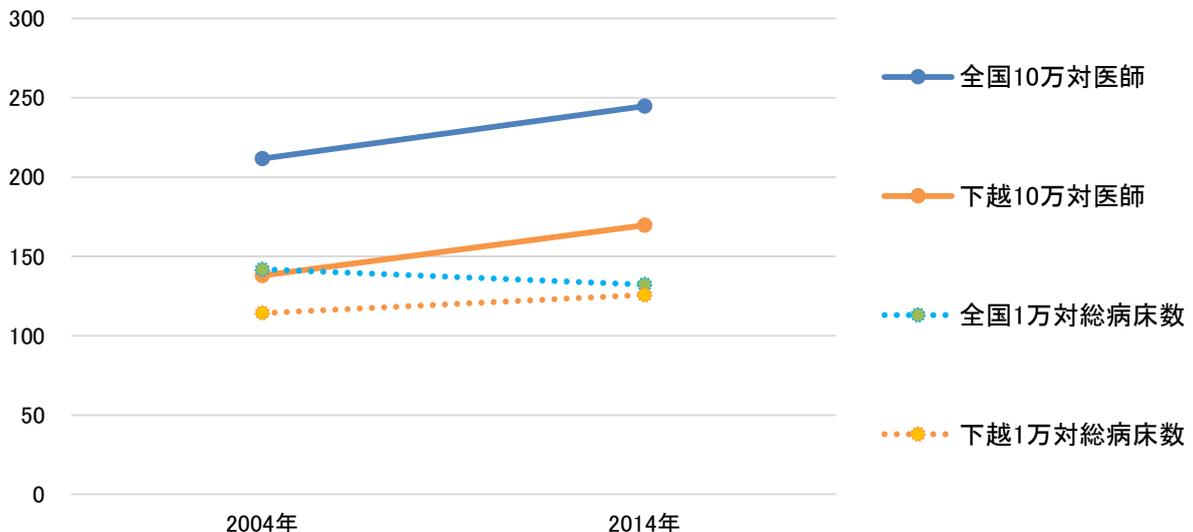
2004年の病院数が14(人口10万人当たり6.1病院(全国平均7.1)偏差値47)であったが、2014年に17(人口10万人当たり8病院(全国平均6.7)偏差値53)となり、10年間で3病院が増加した。

2004年の診療所数が163(人口10万人当たり71診療所(全国平均76)偏差値48)であったが、2014年に153(人口10万人当たり72診療所(全国平均79)偏差値46)と、10診療所が減少した。

2004年の総病床数が2618床(人口1万人当たり114(全国平均142)偏差値45)であったが、2014年に2658床(人口1万人当たり126(全国平均132)偏差値49)と、40床の増加、率にして2%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。

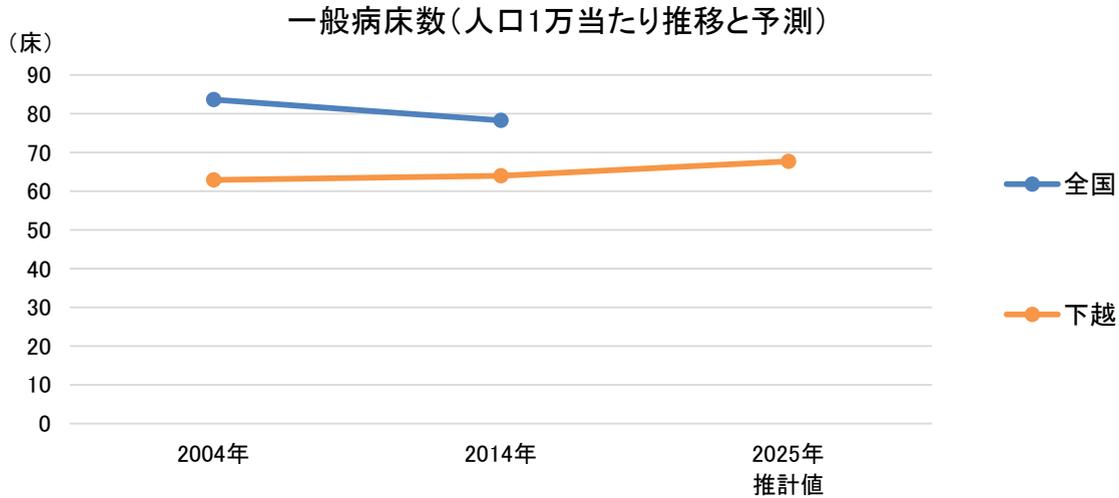
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が316人(人口10万人当たり138人(全国平均212人)偏差値41)であったが、2014年に359人(人口10万人当たり170人(全国平均245人)偏差値42)と、43人の増加、率にして14%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



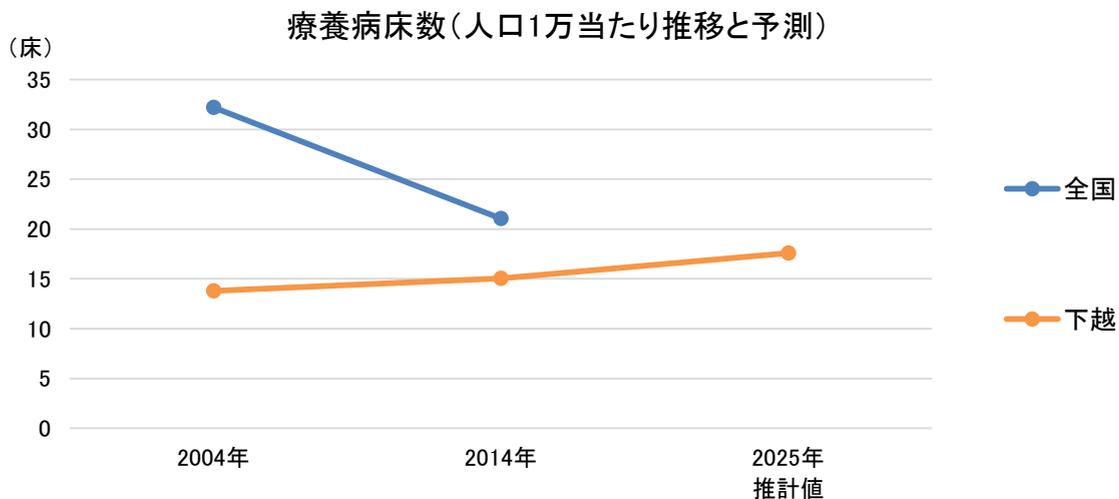
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1441床(人口1万人当たり63(全国平均84)偏差値43)であったが、2014年に1353床(人口1万人当たり64(全国平均78)偏差値45)と、88床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1256床(2025年の推計人口1万人当たり68)になることが予想される。



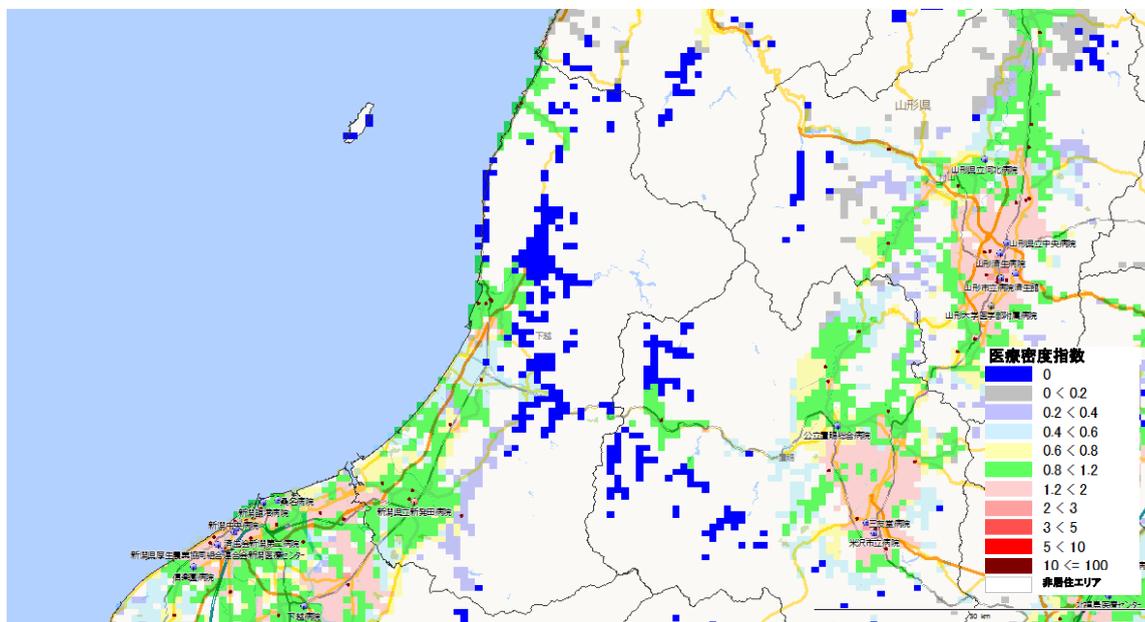
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が408床(75歳以上1000人当たり14(全国平均32)偏差値40)であったが、2014年に545床(75歳以上1000人当たり15(全国平均21)偏差値45)と、137床の増加、率にして34%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には696床(2025年の推計75歳以上1000人当たり18)になることが予想される。



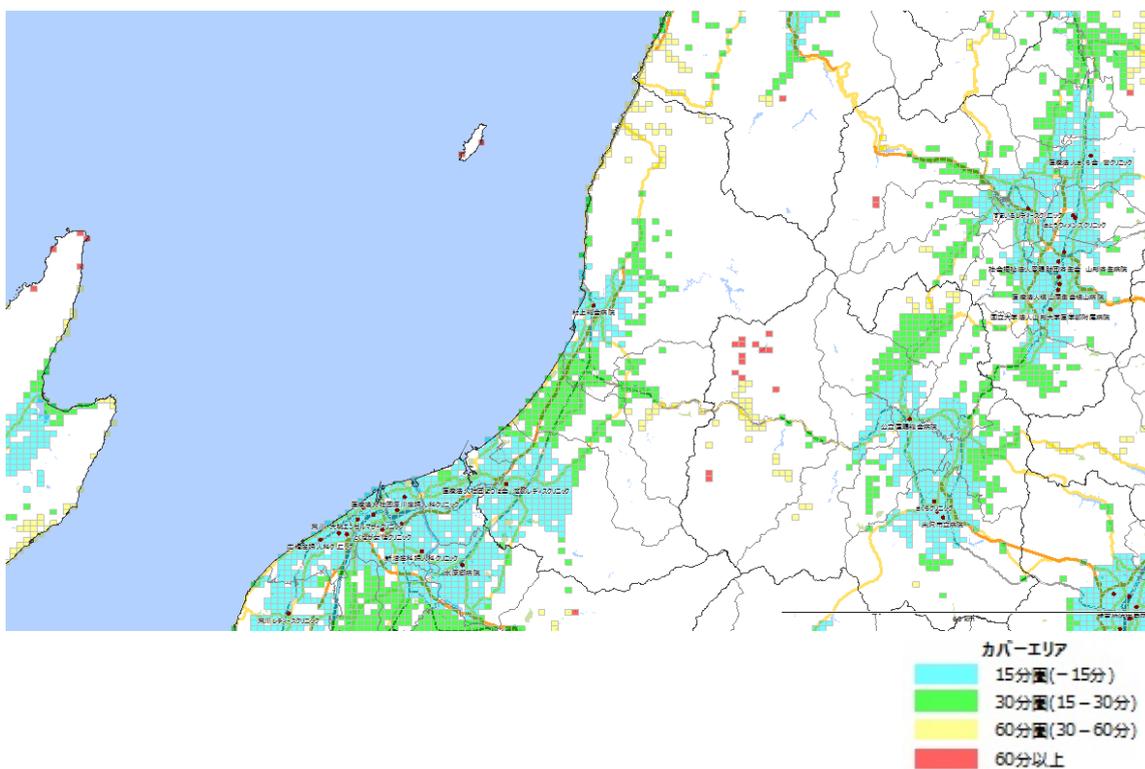
(下越医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表15-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表15-1-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)

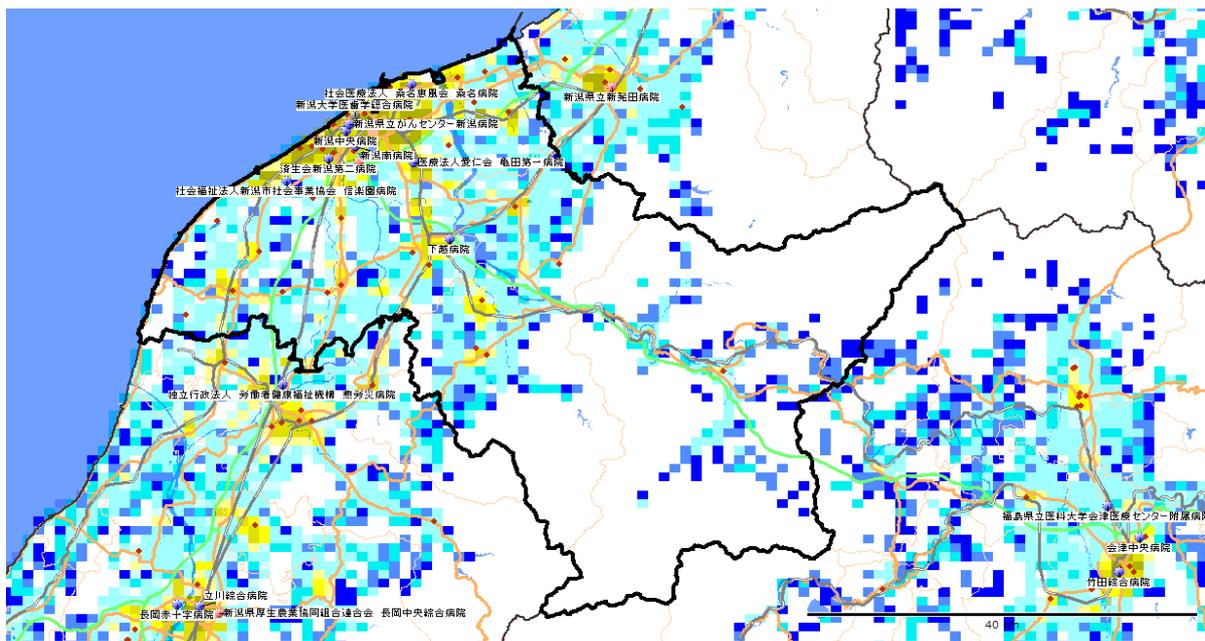


15-2. にいがた 新潟医療圏

構成市区町村⁹

北区	東区	中央区	江南区
秋葉区	南区	西区	西蒲区
五泉市	阿賀野市	阿賀町	

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

- I群
- II群
- III群

● 一般病院

(新潟医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など：新潟(新潟市北区)は、総人口約917千人(2015年)、面積2224km²、人口密度は412人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測：新潟の総人口は2025年に855千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に745千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の127千人が、2025年にかけて163千人へと増加し(2015年比+28%)、2040年には169千人へと増加する(2025年比+4%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費：新潟の一人当たり医療費(国保)は350千円(偏差値52)、介護給付費は291千円(偏差値61)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度：新潟の一人当たり急性期医療密度指数²は1.06、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.01で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状：総医師数³の偏差値が49(病院医師数50、診療所医師数48)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は53とやや多い。

*一般病床等の現状：人口当たりの一般病床の偏差値は52で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は52と全国平均レベルである。新潟には、年間全身麻酔件数が2000例以上の済生会新潟第二病院(Ⅲ群)、新潟県立がんセンター新潟病院(Ⅲ群)、新潟大学医歯学総合病院(Ⅰ群・救命)、新潟市民病院(Ⅱ群・救命)、500例以上の新潟医療センター(Ⅲ群)、亀田第一病院(Ⅲ群)、新潟中央病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状：人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状：総療法士数は偏差値49と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

*精神病床の現状：人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状：人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状：新潟の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、12890人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が10250床(偏差値66)、高齢者住宅等が2640床(偏差値36)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、10358人(75歳以上1000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設66、特別養護老人ホーム59、介護療養型医療施設52、有料老人ホーム41、軽費ホーム46、グループホーム41、サ高住42である。

*在宅ケアの現状：在宅療養支援診療所は偏差値39と少なく、在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値40と少ない。介護職員(在宅)の合計は、1228人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測：2025年の介護充足度指数⁴は-11%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(新潟医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

新潟医療圏の総人口は、2005年932555人が、2015年に916656人と2%減少し、2025年の人口が855268人と予測され、2005年→2025年の間に8%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に10%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

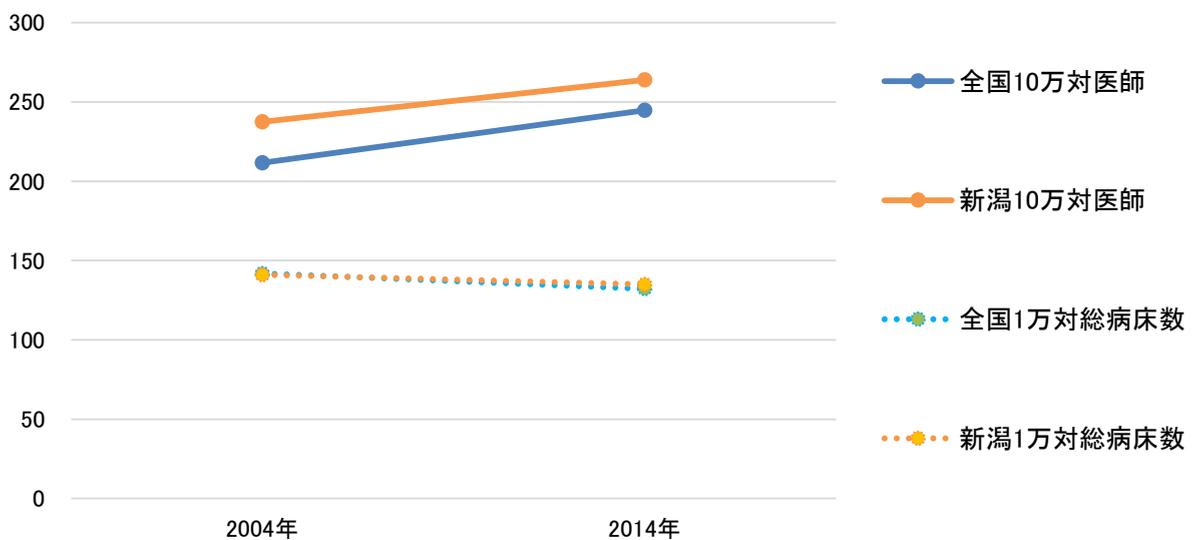
2004年の病院数が55(人口10万人当たり5.9病院(全国平均7.1)偏差値47)であったが、2014年に50(人口10万人当たり5.5病院(全国平均6.7)偏差値47)となり、10年間で5病院が減少した。

2004年の診療所数が711(人口10万人当たり76診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2014年に728(人口10万人当たり79診療所(全国平均79)偏差値50)と、17診療所が増加した。

2004年の総病床数が13154床(人口1万人当たり141(全国平均142)偏差値50)であったが、2014年に12373床(人口1万人当たり135(全国平均132)偏差値50)と、781床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

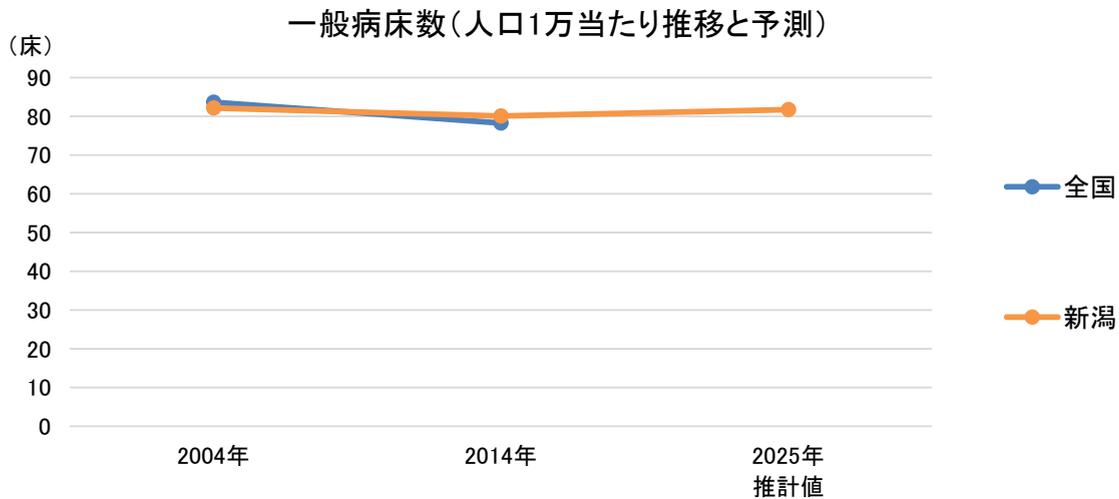
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が2214人(人口10万人当たり237人(全国平均212人)偏差値53)であったが、2014年に2419人(人口10万人当たり264人(全国平均245人)偏差値52)と、205人の増加、率にして9%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



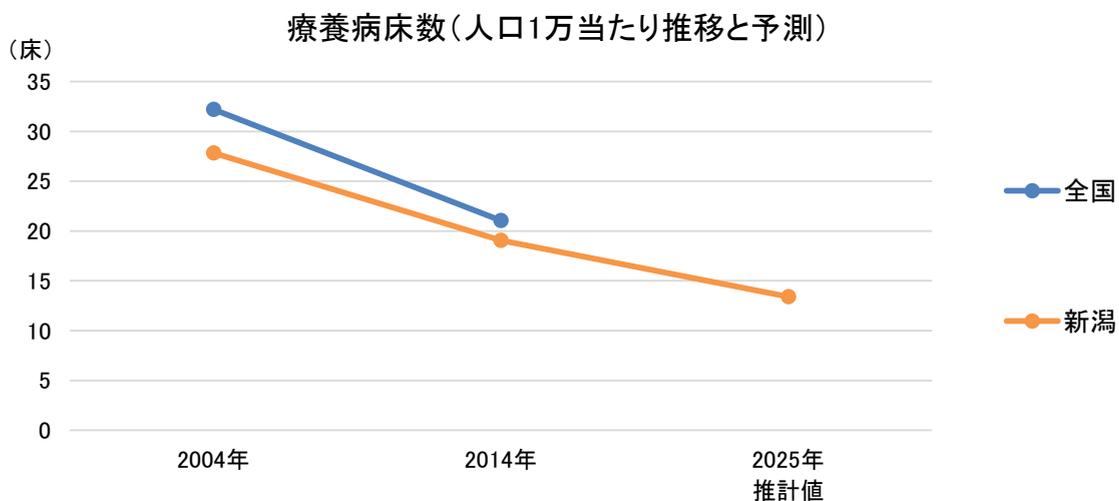
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が7658床(人口1万人当たり82(全国平均84)偏差値49)であったが、2014年に7340床(人口1万人当たり80(全国平均78)偏差値51)と、318床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には6990床(2025年の推計人口1万人当たり82)になることが予想される。



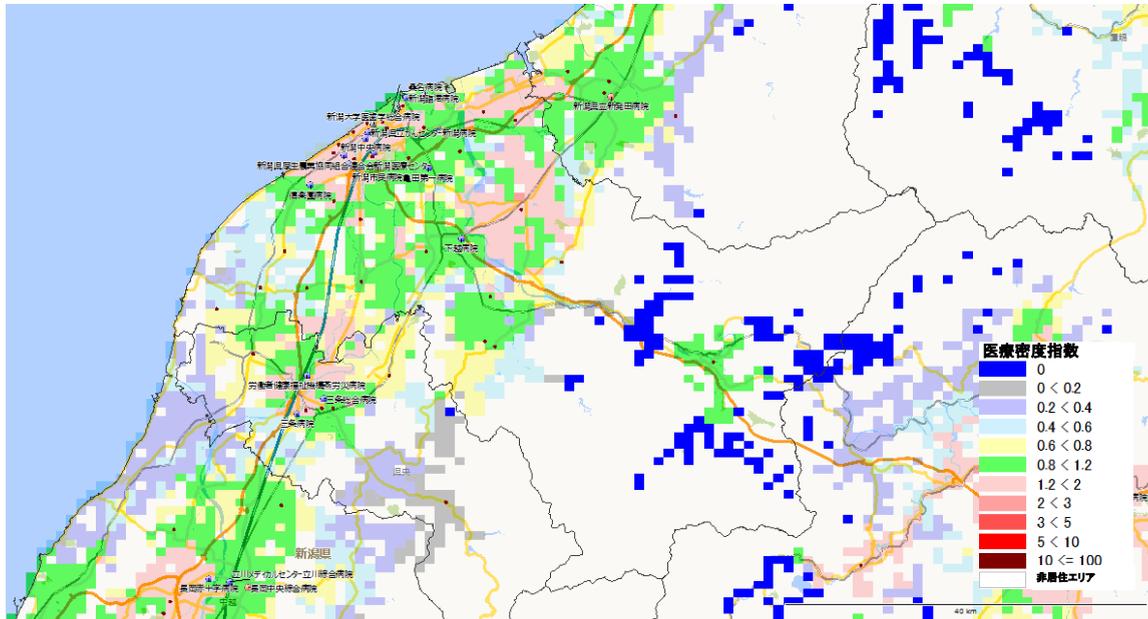
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2642床(75歳以上1000人当たり28(全国平均32)偏差値48)であったが、2014年に2421床(75歳以上1000人当たり19(全国平均21)偏差値48)と、221床の減少、率にして8%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2178床(2025年の推計75歳以上1000人当たり13)になることが予想される。



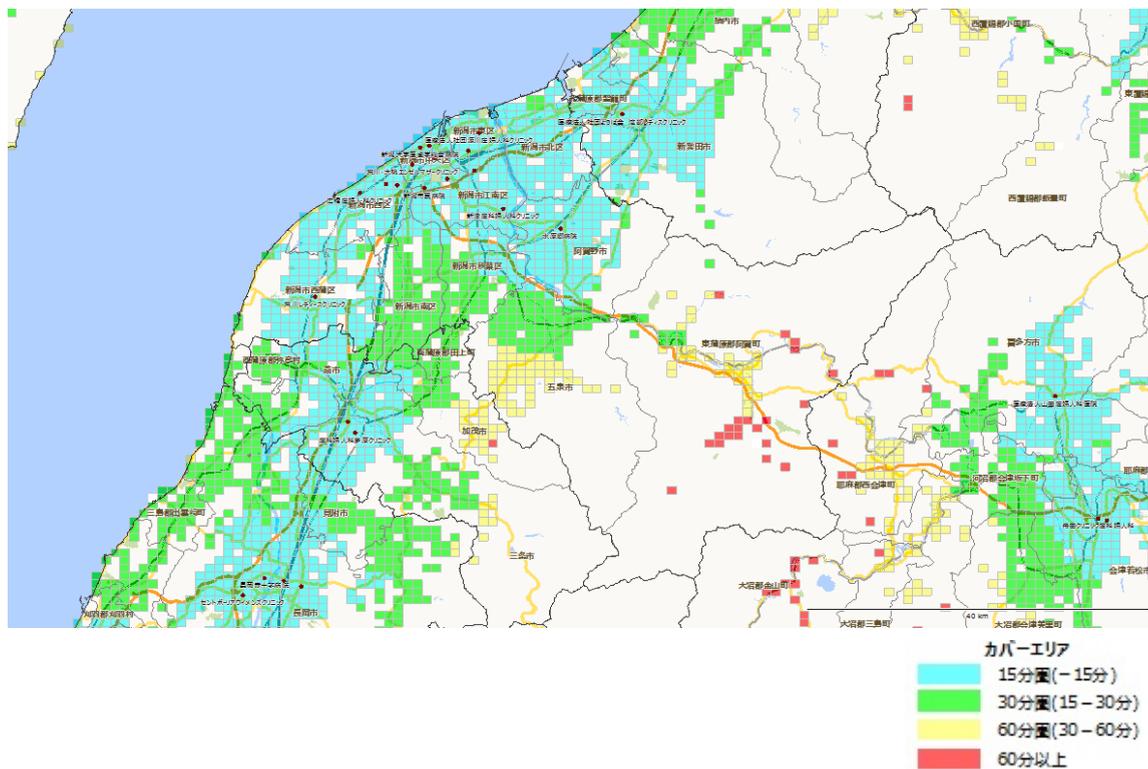
(新潟医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表15-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表15-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

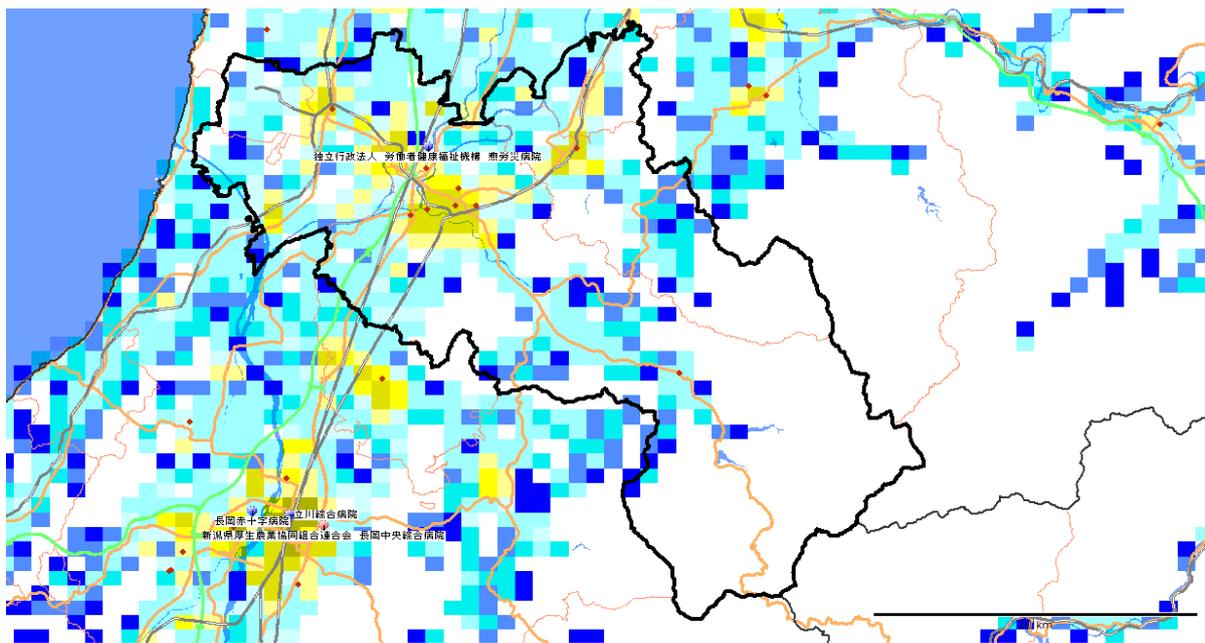
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



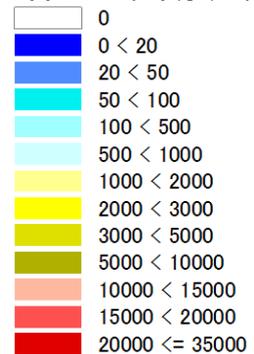
15-3. けんおう 県央医療圏

構成市区町村⁹ [三条市](#) [加茂市](#) [燕市](#) [弥彦村](#)
[田上町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

● I群

● II群

● III群

● 一般病院

(県央医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 県央(三条市)は、総人口約227千人(2015年)、面積734km²、人口密度は310人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 県央の総人口は2025年に207千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に172千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の35千人が、2025年にかけて42千人へと増加し(2015年比+20%)、2040年には41千人へと減少する(2025年比-2%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 県央の一人当たり医療費(国保)は346千円(偏差値51)、介護給付費は265千円(偏差値53)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 県央の一人当たり急性期医療密度指数²は0.85、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.71で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が37(病院医師数35、診療所医師数45)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は42と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は45で、一般病床数はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。県央には、年間全身麻酔件数が500例以上の済生会三条病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は49と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値40と少なく、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は43で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 県央の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3277人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2551床(偏差値60)、高齢者住宅等が726床(偏差値37)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2855人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設60、特別養護老人ホーム54、介護療養型医療施設57、有料老人ホーム42、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム44、サ高住39である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値35と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値42と少ない。介護職員(在宅)の合計は、242人(75歳以上1000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-9%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(県央医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

県央医療圏の総人口は、2005年241408人が、2015年に227225人と6%減少し、2025年の人口が207003人と予測され、2005年→2025年の間に14%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

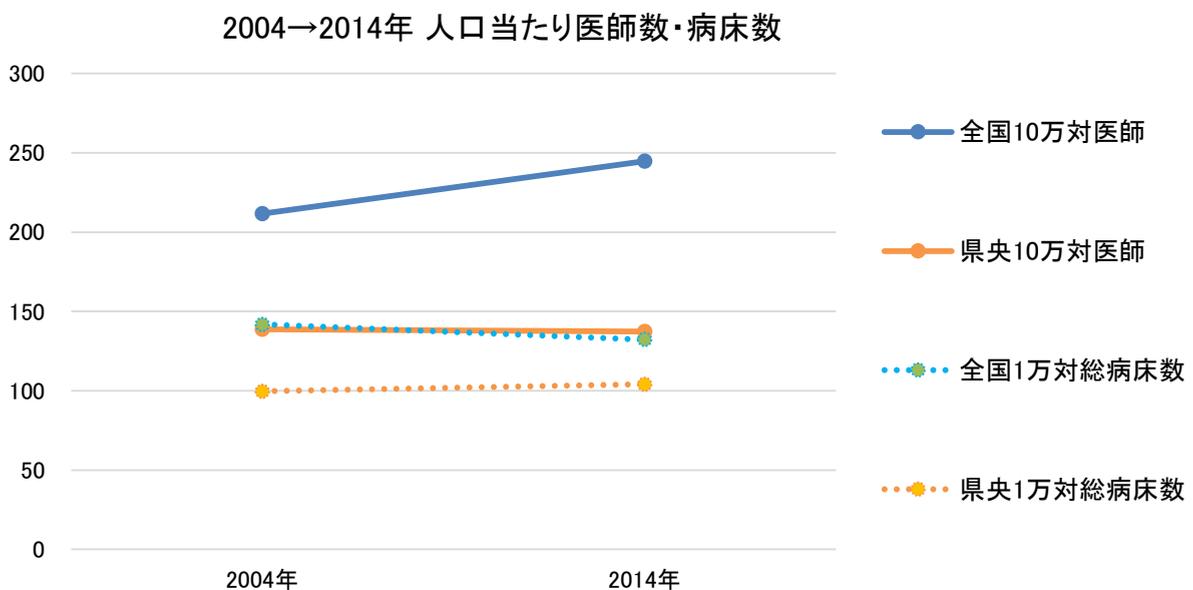
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が9(人口10万人当たり3.7病院(全国平均7.1)偏差値41)であったが、2014年に10(人口10万人当たり4.4病院(全国平均6.7)偏差値44)となり、10年間で1病院が増加した。

2004年の診療所数が168(人口10万人当たり70診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2014年に173(人口10万人当たり76診療所(全国平均79)偏差値48)と、5診療所が増加した。

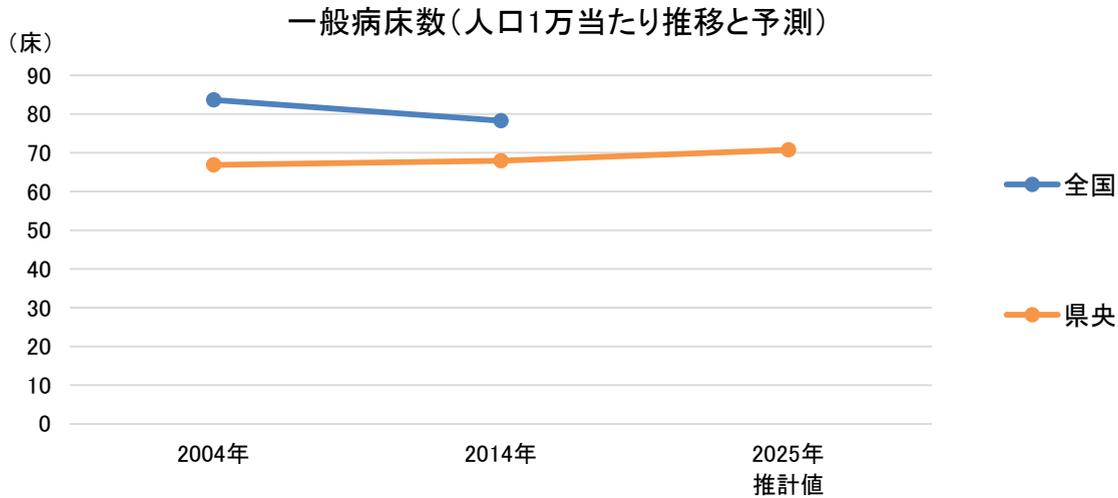
2004年の総病床数が2406床(人口1万人当たり100(全国平均142)偏差値42)であったが、2014年に2364床(人口1万人当たり104(全国平均132)偏差値45)と、42床の減少、率にして2%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が335人(人口10万人当たり139人(全国平均212人)偏差値41)であったが、2014年に312人(人口10万人当たり137人(全国平均245人)偏差値39)と、23人の減少、率にして7%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



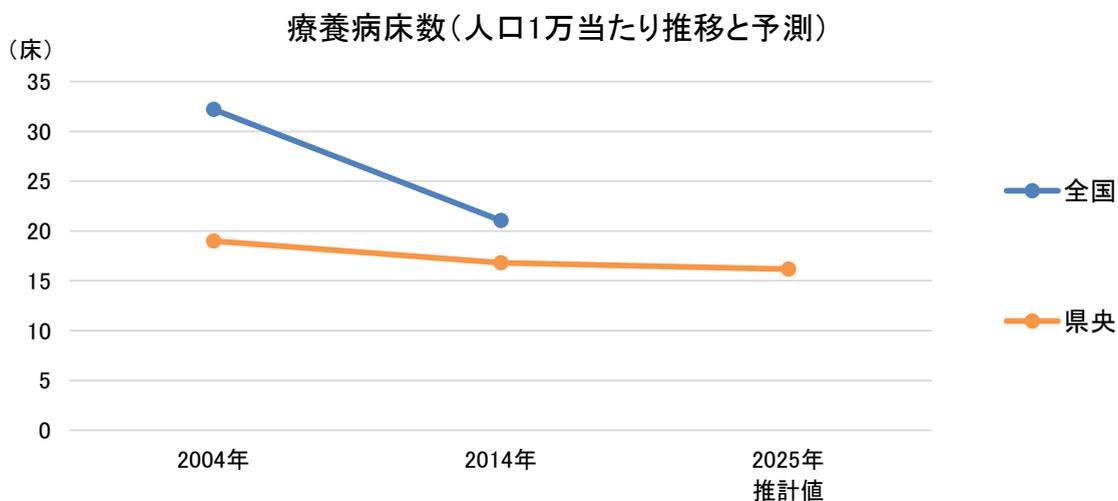
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1615床(人口1万人当たり67(全国平均84)偏差値44)であったが、2014年に1543床(人口1万人当たり68(全国平均78)偏差値46)と、72床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1464床(2025年の推計人口1万人当たり71)になることが予想される。



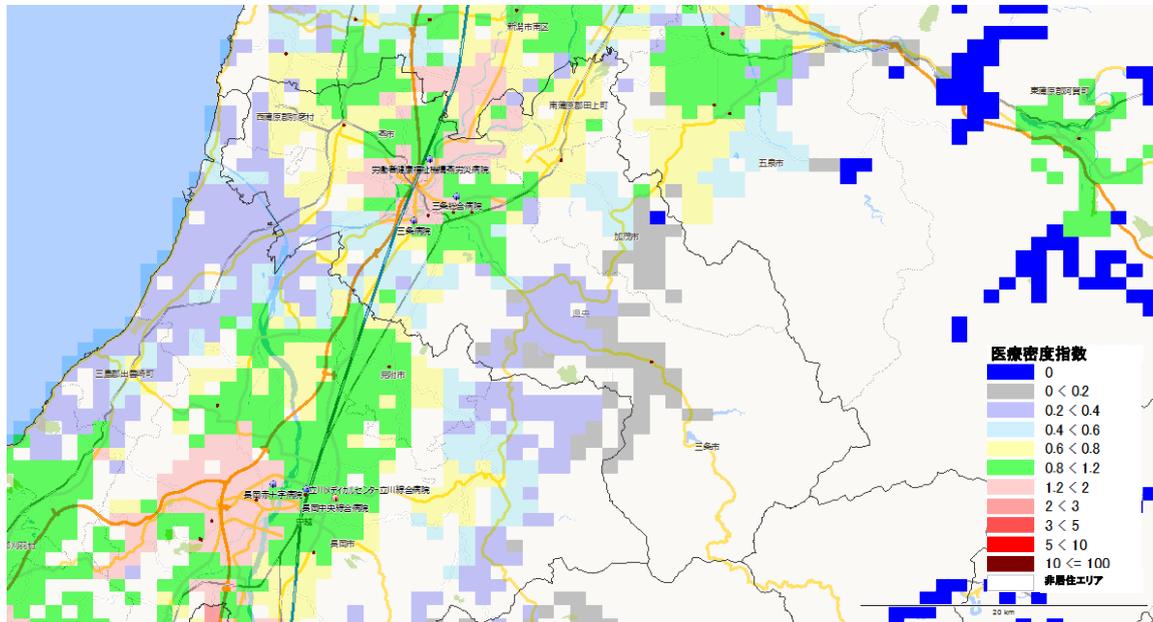
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が497床(75歳以上1000人当たり19(全国平均32)偏差値42)であったが、2014年に581床(75歳以上1000人当たり17(全国平均21)偏差値46)と、84床の増加、率にして17%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には673床(2025年の推計75歳以上1000人当たり16)になることが予想される。



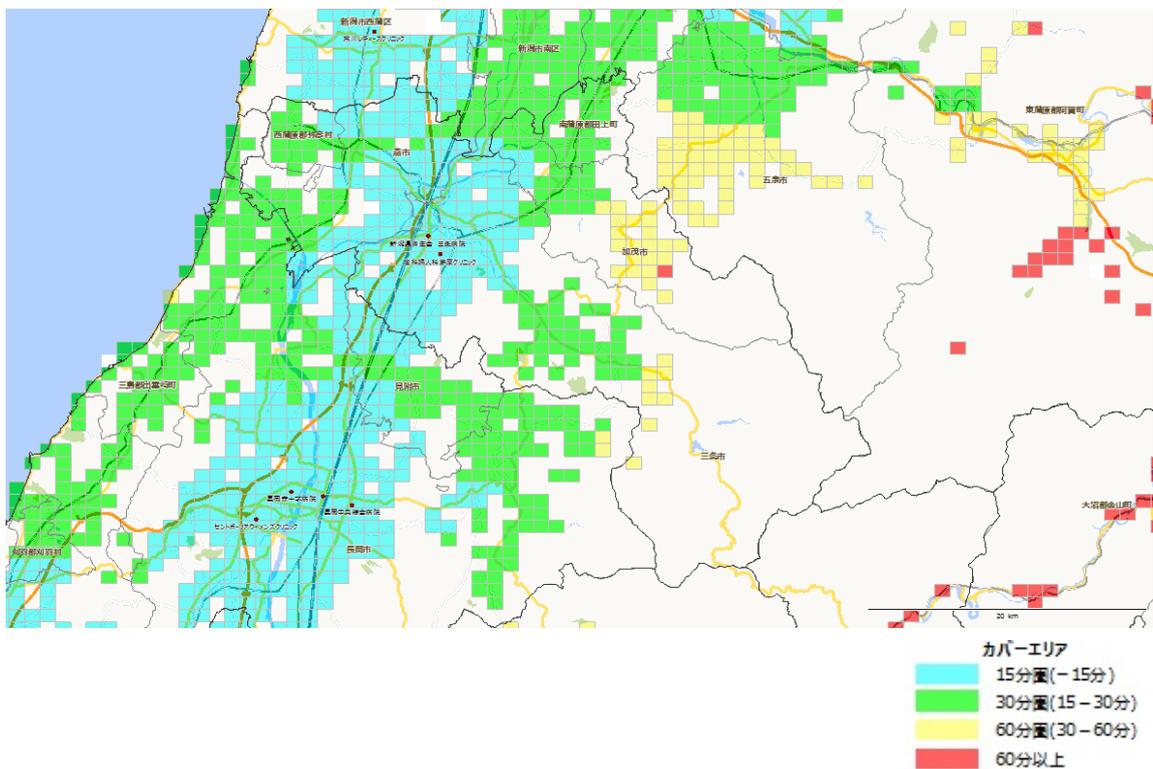
(県央医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表15-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表15-3-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

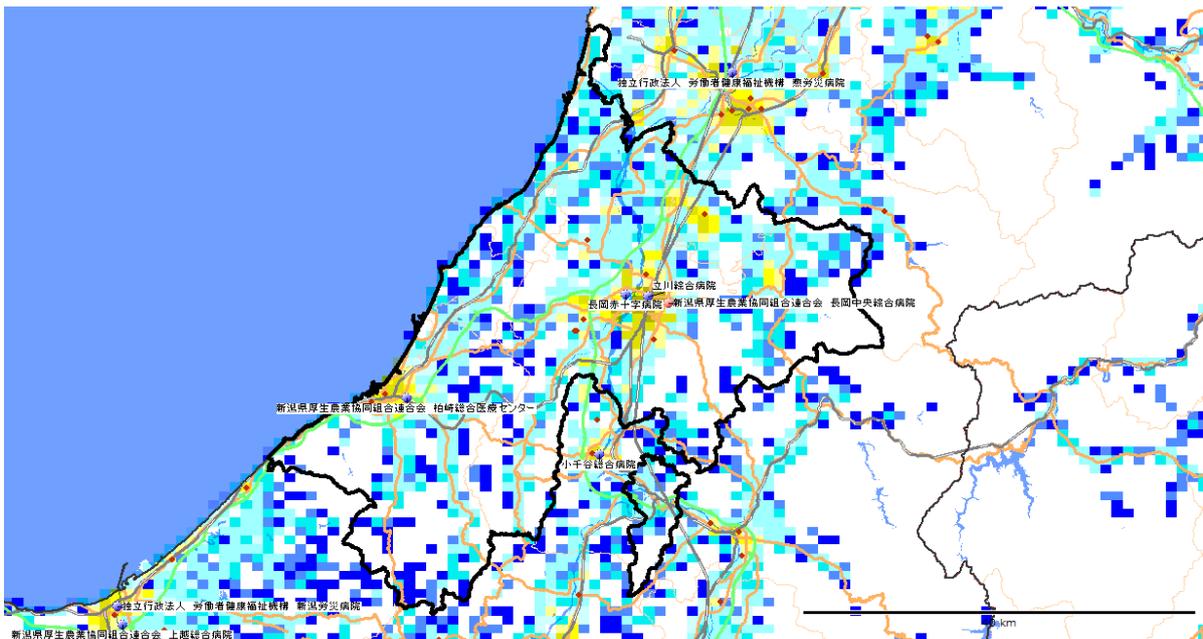
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



15-4. ちゅうえつ 中越医療圏

構成市区町村⁹ [長岡市](#) [柏崎市](#) [見附市](#) [出雲崎町](#)
[刈羽村](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院



(中越医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 中越(長岡市)は、総人口約448千人(2015年)、面積1637km²、人口密度は274人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 中越の総人口は2025年に413千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に350千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の70千人が、2025年にかけて83千人へと増加し(2015年比+19%)、2040年には82千人へと減少する(2025年比-1%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 中越の一人当たり医療費(国保)は351千円(偏差値52)、介護給付費は277千円(偏差値57)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 中越の一人当たり急性期医療密度指数²は1.12、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.64で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が41(病院医師数43、診療所医師数40)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は50と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は54で、一般病床数はやや多い。全身麻酔数の偏差値は49と全国平均レベルである。中越には、年間全身麻酔件数が2000例以上の長岡赤十字病院(Ⅲ群・救命)、長岡中央総合病院(Ⅱ群)、1000例以上の立川総合病院(Ⅲ群)、500例以上の柏崎総合医療センター(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は47と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は45で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 中越の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、7169人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が4804床(偏差値56)、高齢者住宅等が2365床(偏差値45)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5591人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設47、特別養護老人ホーム57、介護療養型医療施設56、有料老人ホーム47、軽費ホーム45、グループホーム48、サ高住45である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値40と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値34と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、484人(75歳以上1000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-2%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(中越医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

中越医療圏の総人口は、2005年475873人が、2015年に448375人と6%減少し、2025年の人口が412810人と予測され、2005年→2025年の間に13%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

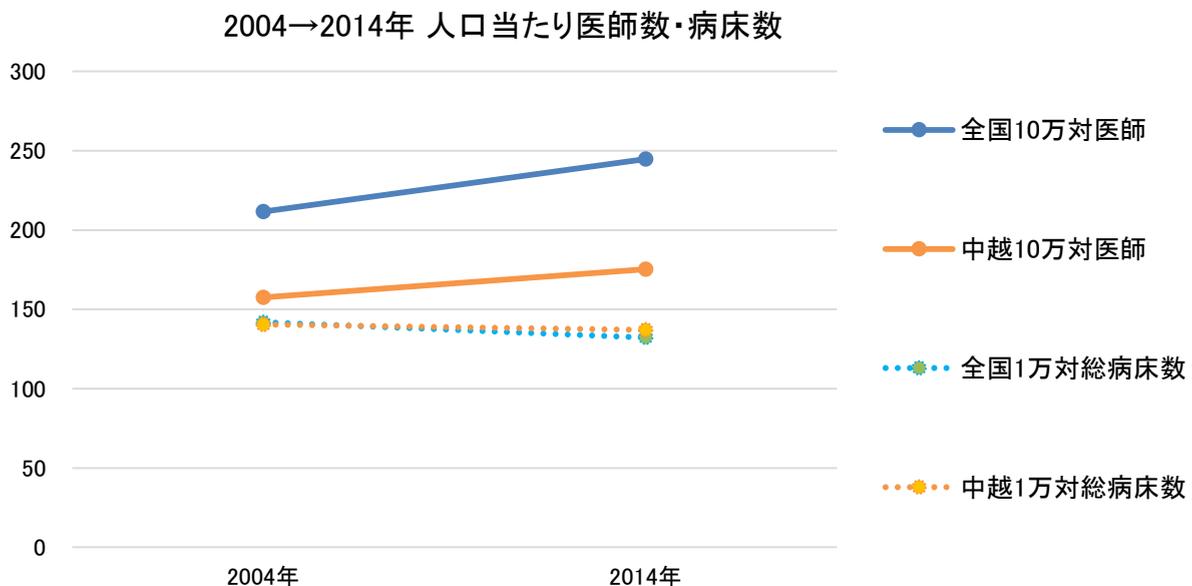
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が22(人口10万人当たり4.6病院(全国平均7.1)偏差値44)であったが、2014年に20(人口10万人当たり4.5病院(全国平均6.7)偏差値45)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が322(人口10万人当たり68診療所(全国平均76)偏差値46)であったが、2014年に307(人口10万人当たり68診療所(全国平均79)偏差値44)と、15診療所が減少した。

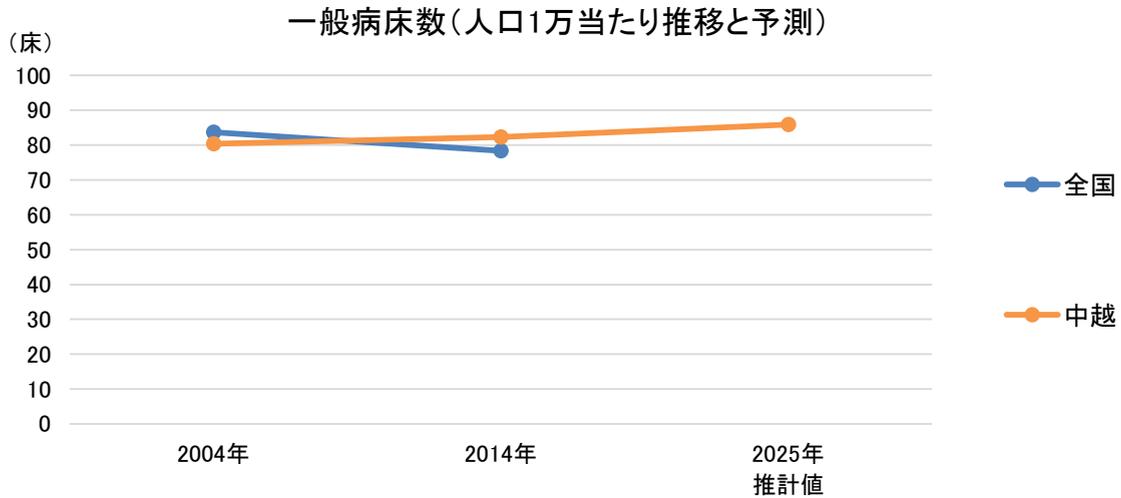
2004年の総病床数が6684床(人口1万人当たり140(全国平均142)偏差値50)であったが、2014年に6149床(人口1万人当たり137(全国平均132)偏差値51)と、535床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が750人(人口10万人当たり158人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2014年に786人(人口10万人当たり175人(全国平均245人)偏差値43)と、36人の増加、率にして5%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



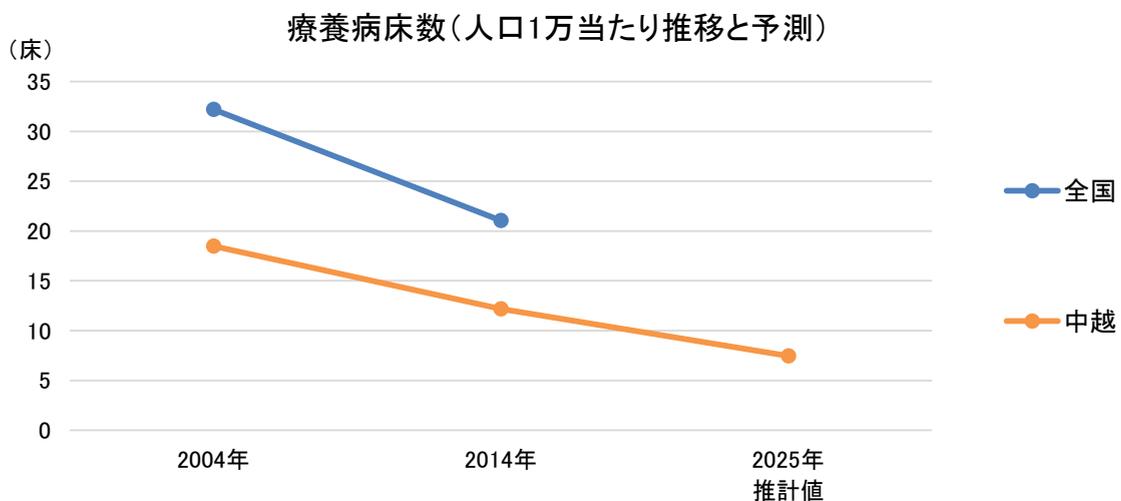
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3826床(人口1万人当たり80(全国平均84)偏差値49)であったが、2014年に3691床(人口1万人当たり82(全国平均78)偏差値51)と、135床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3543床(2025年の推計人口1万人当たり86)になることが予想される。



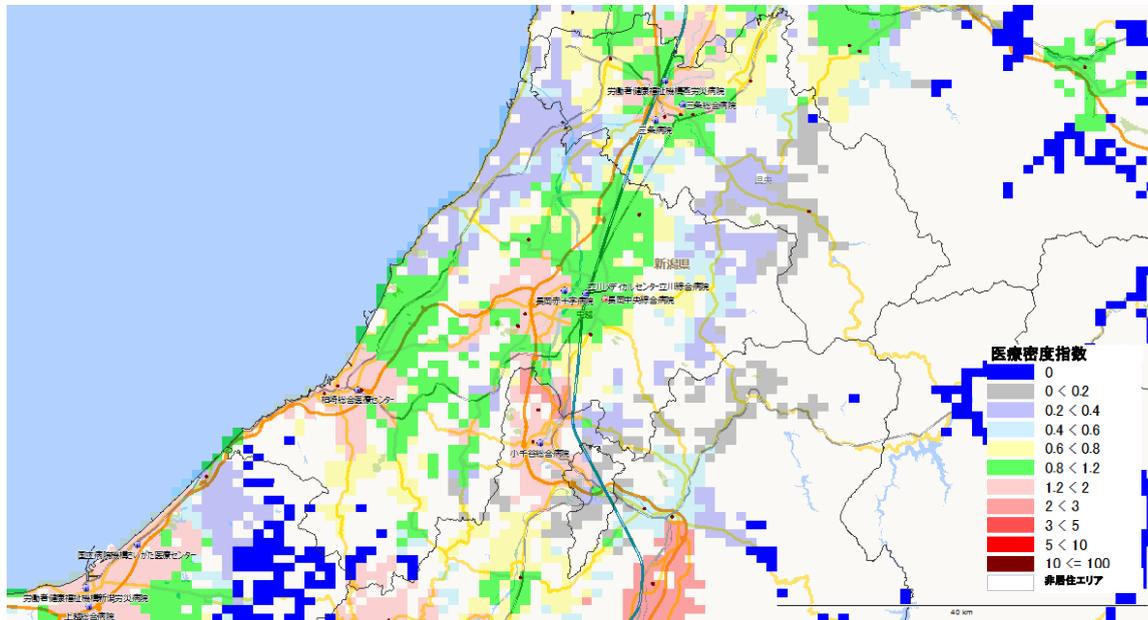
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1065床(75歳以上1000人当たり18(全国平均32)偏差値42)であったが、2014年に851床(75歳以上1000人当たり12(全国平均21)偏差値42)と、214床の減少、率にして20%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には616床(2025年の推計75歳以上1000人当たり7)になることが予想される。



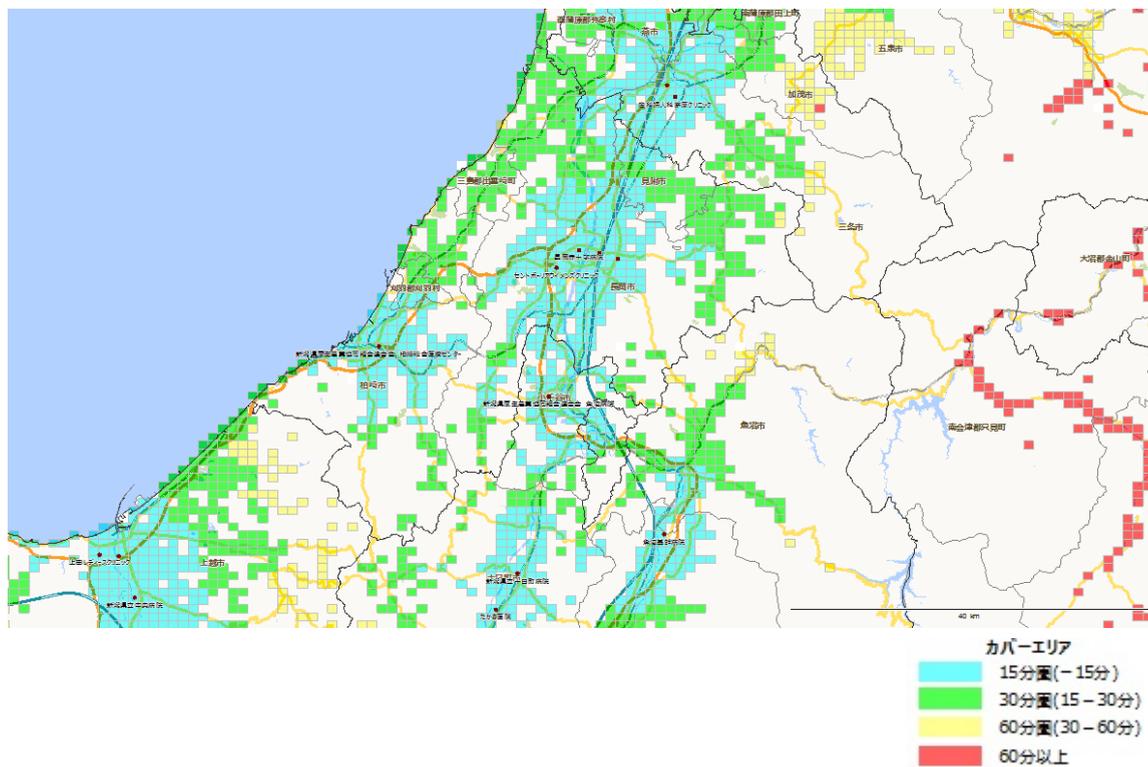
(中越医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表15-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表15-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

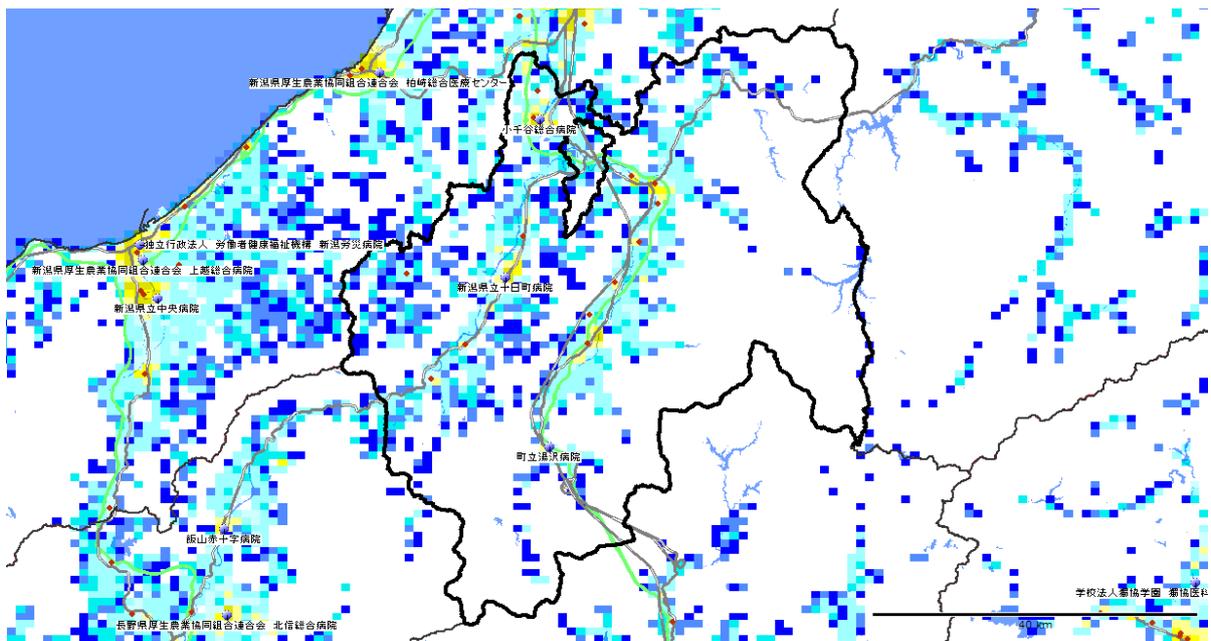
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



15-5. うおぬま 魚沼医療圏

構成市区町村⁹ [小千谷市](#) [十日町市](#) [魚沼市](#) [南魚沼市](#)
[湯沢町](#) [津南町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(魚沼医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 魚沼(十日町市)は、総人口約169千人(2015年)、面積2649km²、人口密度は64人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 魚沼の総人口は2025年に152千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に125千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の31千人が、2025年にかけて35千人へと増加し(2015年比+13%)、2040年には35千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 魚沼の一人当たり医療費(国保)は305千円(偏差値41)、介護給付費は308千円(偏差値66)であり、医療費は低い、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 魚沼の一人当たり急性期医療密度指数²は0.96、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.2で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が40(病院医師数43、診療所医師数35)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は47とやや少ない。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は53で、一般病床数はやや多い。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。魚沼には、年間全身麻酔件数が500例以上の新潟県立十日町病院(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値43と少なく、回復期病床数は0である。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は40で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 魚沼の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3026人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2294床(偏差値59)、高齢者住宅等が732床(偏差値38)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2596人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設44、特別養護老人ホーム68、介護療養型医療施設43、有料老人ホーム38、軽費ホーム55、グループホーム49、サ高住41である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値39と少なく、在宅療養支援病院は偏差値58と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値42と少ない。介護職員(在宅)の合計は、189人(75歳以上1000人当たりの偏差値36)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

***介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数⁴は-1%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(魚沼医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

魚沼医療圏の総人口は、2005年189374人が、2015年に168912人と11%減少し、2025年の人口が152483人と予測され、2005年→2025年の間に19%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に2%減少し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

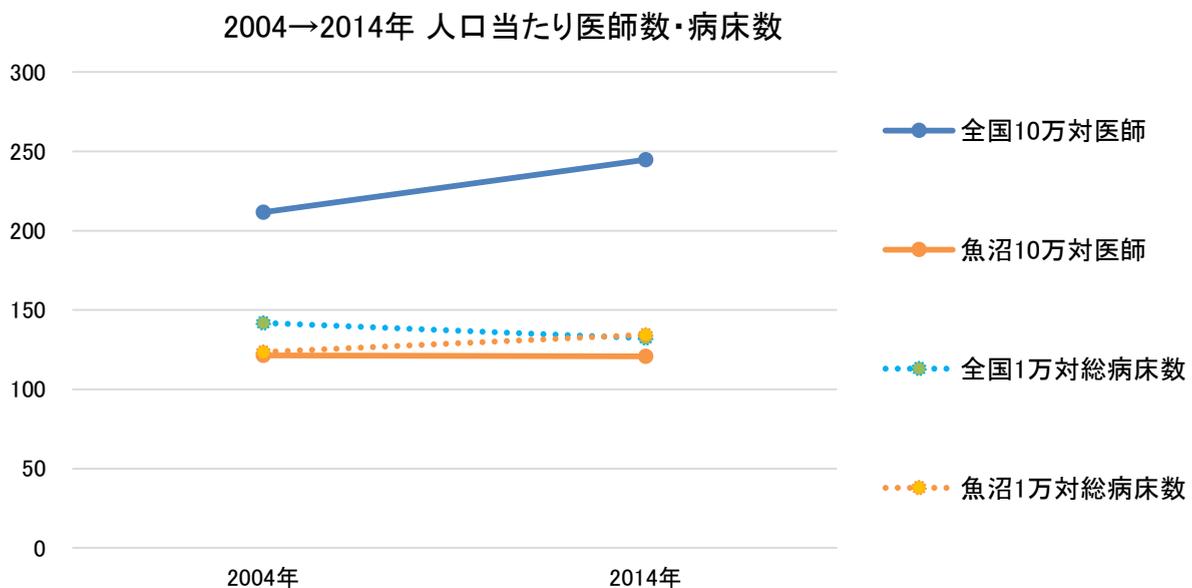
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が15(人口10万人当たり7.9病院(全国平均7.1)偏差値52)であったが、2014年に14(人口10万人当たり8.3病院(全国平均6.7)偏差値54)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が106(人口10万人当たり56診療所(全国平均76)偏差値40)であったが、2014年に102(人口10万人当たり60診療所(全国平均79)偏差値40)と、4診療所が減少した。

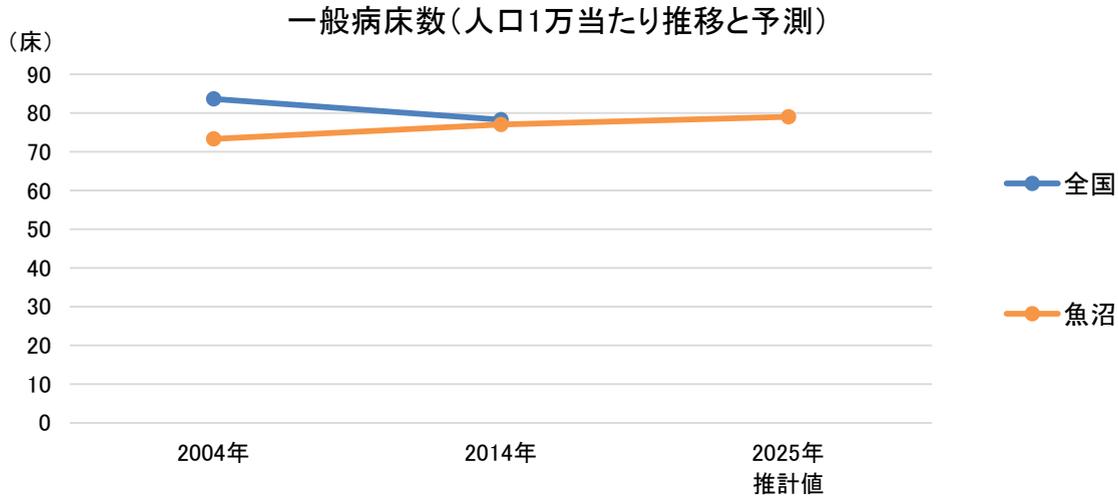
2004年の総病床数が2338床(人口1万人当たり123(全国平均142)偏差値47)であったが、2014年に2270床(人口1万人当たり134(全国平均132)偏差値50)と、68床の減少、率にして3%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が230人(人口10万人当たり121人(全国平均212人)偏差値39)であったが、2014年に204人(人口10万人当たり121人(全国平均245人)偏差値37)と、26人の減少、率にして11%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



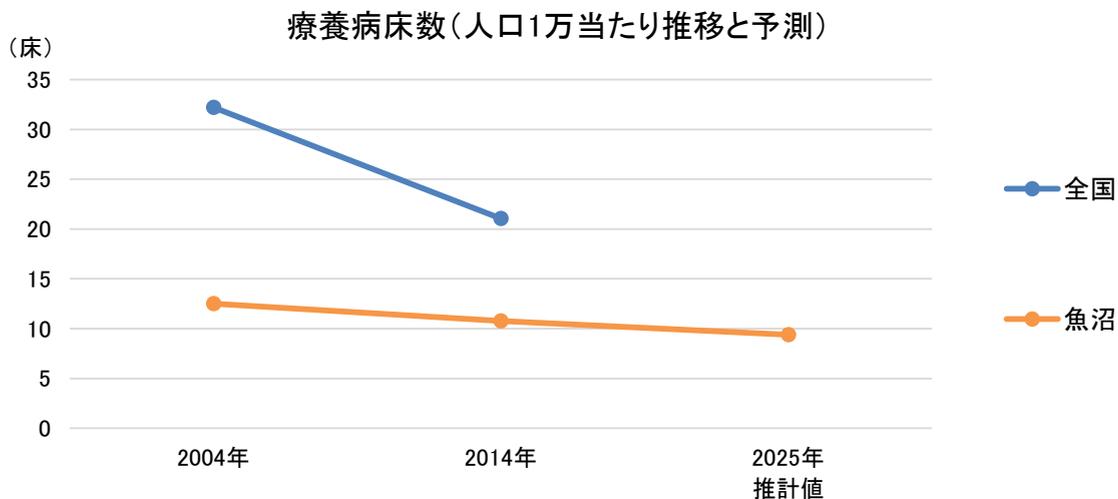
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1388床(人口1万人当たり73(全国平均84)偏差値46)であったが、2014年に1301床(人口1万人当たり77(全国平均78)偏差値50)と、87床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1205床(2025年の推計人口1万人当たり79)になることが予想される。



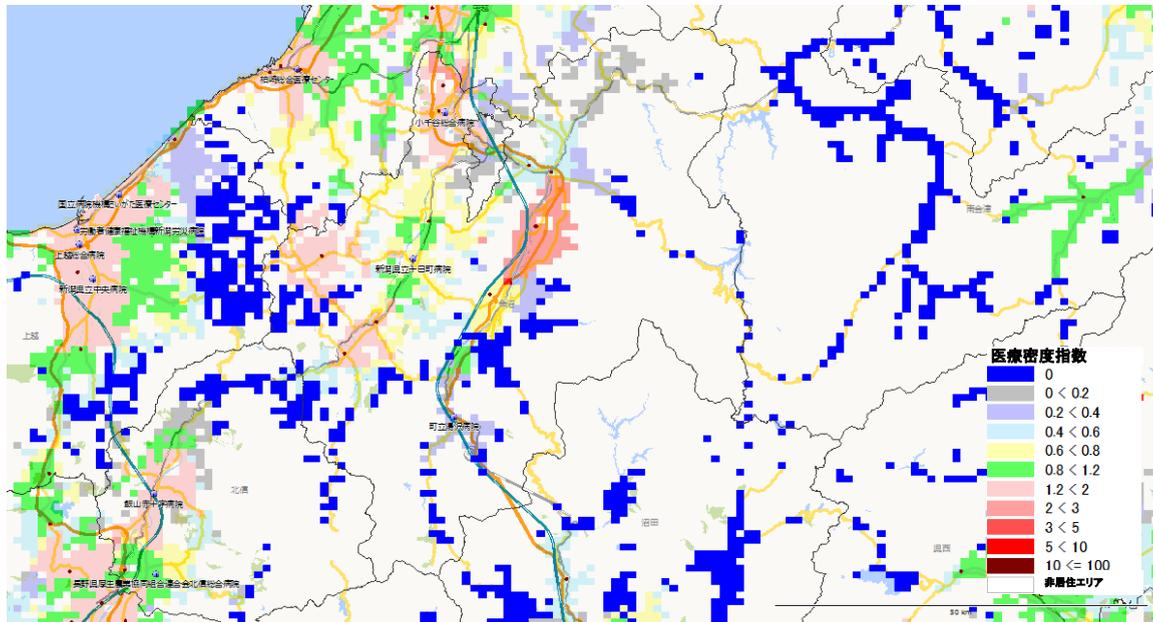
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が350床(75歳以上1000人当たり12(全国平均32)偏差値39)であったが、2014年に339床(75歳以上1000人当たり11(全国平均21)偏差値41)と、11床の減少、率にして3%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には327床(2025年の推計75歳以上1000人当たり9)になることが予想される。



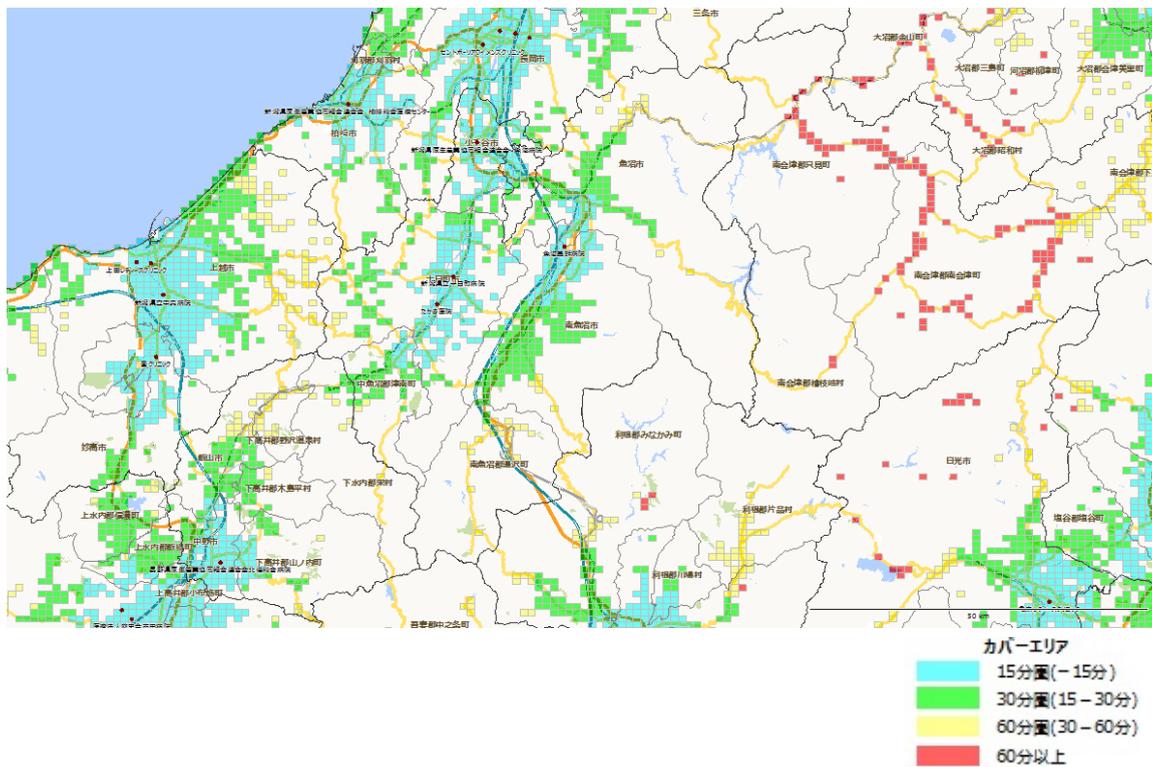
(魚沼医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表15-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表15-5-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

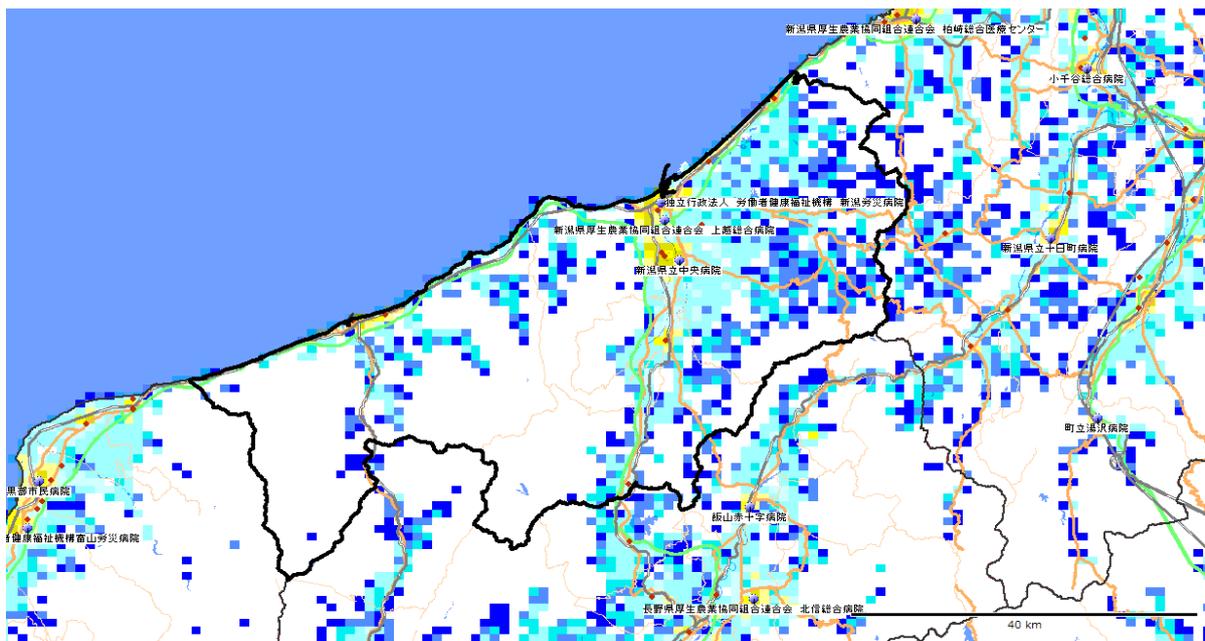
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



15-6. じょうえつ 上越医療圏

構成市区町村⁹ [糸魚川市](#) [妙高市](#) [上越市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(上越医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 上越(糸魚川市)は、総人口約274千人(2015年)、面積2166km²、人口密度は127人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 上越の総人口は2025年に251千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に210千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の46千人が、2025年にかけて53千人へと増加し(2015年比+15%)、2040年には50千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 上越の一人当たり医療費(国保)は394千円(偏差値61)、介護給付費は319千円(偏差値69)であり、医療費は高く、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 上越の一人当たり急性期医療密度指数²は1.25、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.72で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が40(病院医師数42、診療所医師数39)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は47とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は54で、一般病床数はやや多い。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。上越には、年間全身麻酔件数が1000例以上の新潟県立中央病院(Ⅲ群・救命)、500例以上の上越総合病院(Ⅲ群)、新潟労災病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は40と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は偏差値45とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は44で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 上越の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、5291人(75歳以上1000人当たりの偏差値56)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が3827床(偏差値67)、高齢者住宅等が1464床(偏差値43)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4434人(75歳以上1000人当たりの偏差値67)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設63、特別養護老人ホーム68、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホーム43、軽費ホーム48、グループホーム53、サ高住44である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値47とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値41と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値35と少ない。介護職員(在宅)の合計は、425人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は+12%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(上越医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

上越医療圏の総人口は、2005年295757人が、2015年に274348人と7%減少し、2025年の人口が250506人と予測され、2005年→2025年の間に15%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

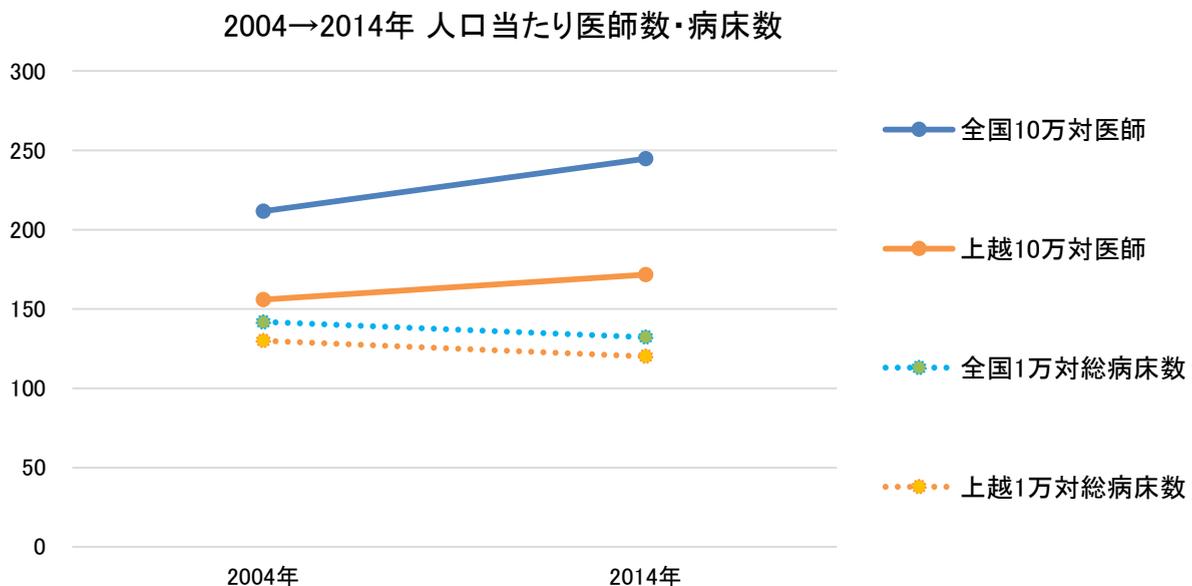
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が18(人口10万人当たり6.1病院(全国平均7.1)偏差値47)であったが、2014年に14(人口10万人当たり5.1病院(全国平均6.7)偏差値46)となり、10年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数が208(人口10万人当たり70診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2014年に186(人口10万人当たり68診療所(全国平均79)偏差値44)と、22診療所が減少した。

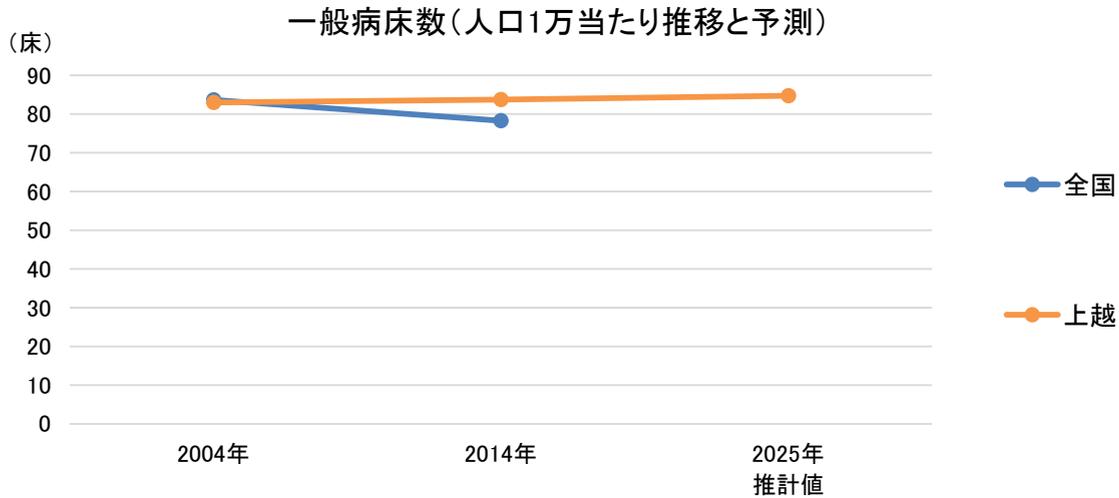
2004年の総病床数が3845床(人口1万人当たり130(全国平均142)偏差値48)であったが、2014年に3295床(人口1万人当たり120(全国平均132)偏差値48)と、550床の減少、率にして14%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が461人(人口10万人当たり156人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2014年に471人(人口10万人当たり172人(全国平均245人)偏差値42)と、10人の増加、率にして2%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



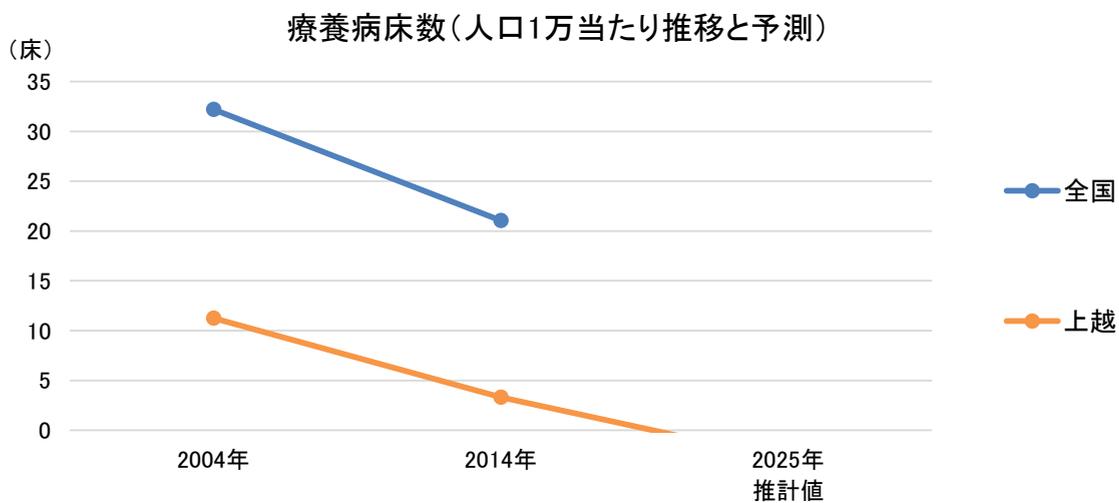
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2454床(人口1万人当たり83(全国平均84)偏差値50)であったが、2014年に2296床(人口1万人当たり84(全国平均78)偏差値52)と、158床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2122床(2025年の推計人口1万人当たり85)になることが予想される。



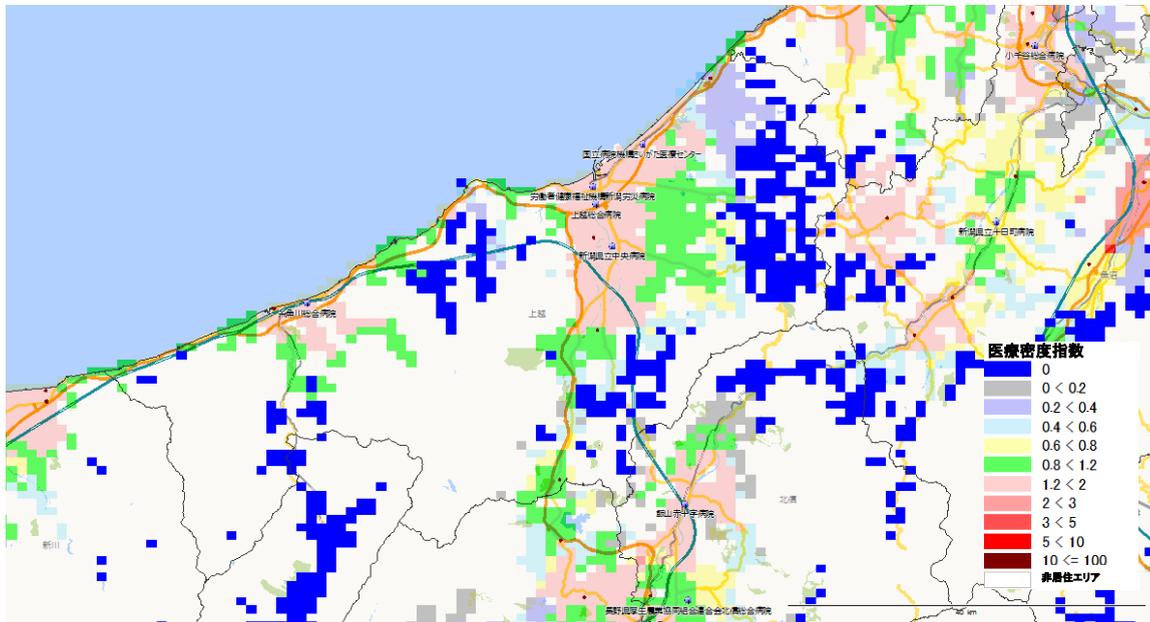
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が435床(75歳以上1000人当たり11(全国平均32)偏差値38)であったが、2014年に154床(75歳以上1000人当たり3(全国平均21)偏差値35)と、281床の減少、率にして65%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には-155床(2025年の推計75歳以上1000人当たり-3)になることが予想される。



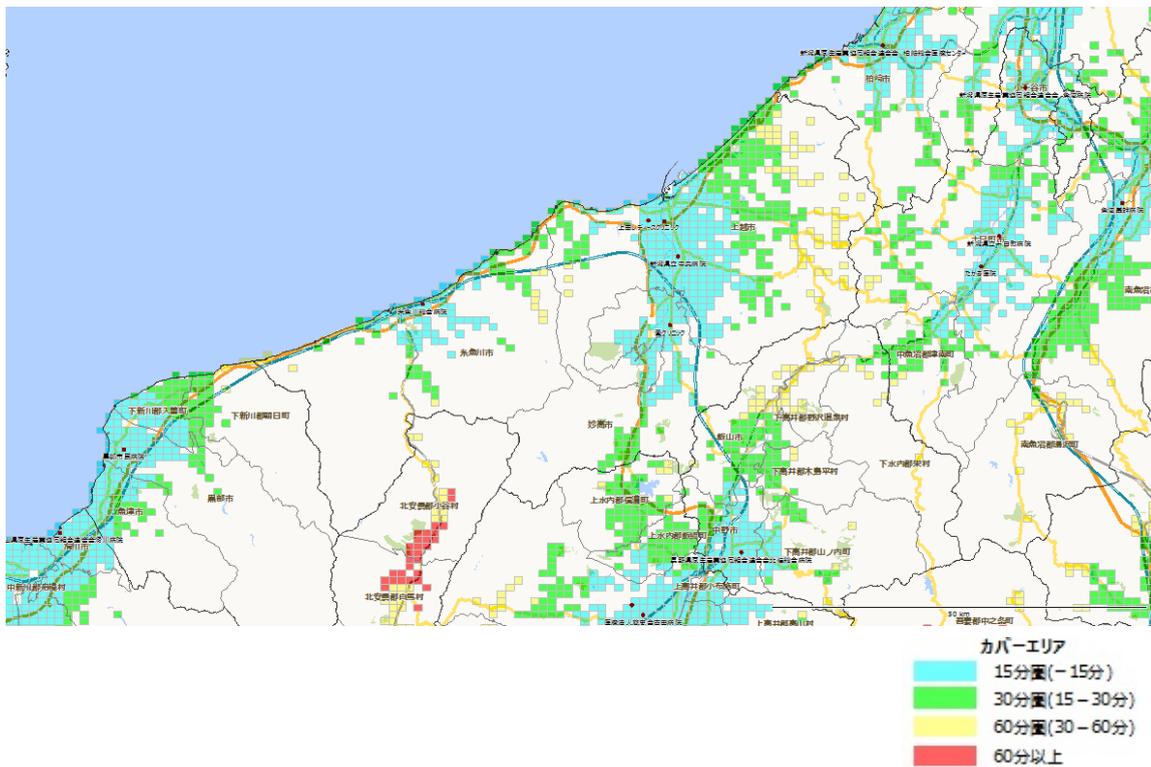
(上越医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表15-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表15-6-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

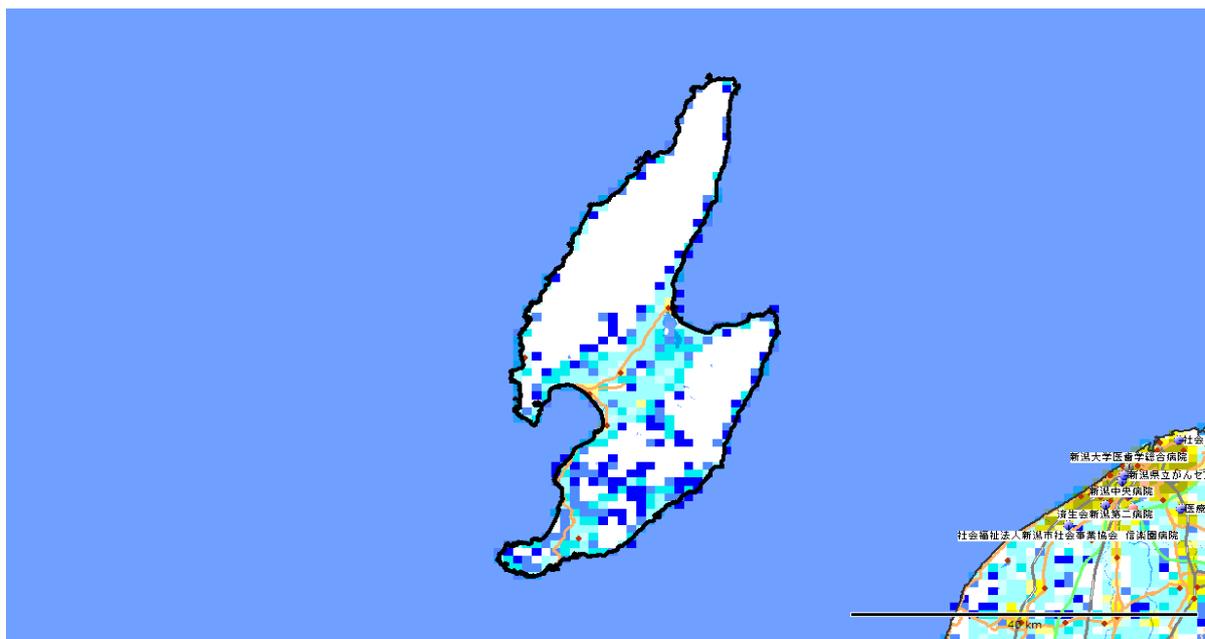
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



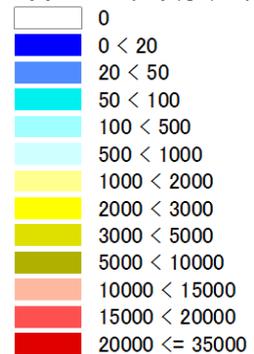
15-7. 佐渡医療圏

構成市区町村⁹ [佐渡市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

● I群

● II群

● III群

● 一般病院

(佐渡医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 佐渡(佐渡市)は、総人口約57千人(2015年)、面積856km²、人口密度は67人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 佐渡の総人口は2025年に49千人へと減少し(2015年比-14%)、2040年に37千人へと減少する(2025年比-24%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の14千人が、2025年にかけて13千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年には11千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 佐渡の一人当たり医療費(国保)は343千円(偏差値50)、介護給付費は306千円(偏差値65)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 佐渡の一人当たり急性期医療密度指数²は0.76、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.95で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が39(病院医師数43、診療所医師数34)と、総医師数、病院医師数はともに少なく、診療所医師数は非常に少ない。総看護師数の偏差値は47とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は57で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。佐渡には、年間全身麻酔件数が500例以上の佐渡総合病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値40と少なく、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は45で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 佐渡の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1232人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1090床(偏差値65)、高齢者住宅等が142床(偏差値30)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1003人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設61、特別養護老人ホーム66、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム40、サ高住35である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値33と非常に少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値25と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、137人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は+9%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(佐渡医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

佐渡医療圏の総人口は、2005年67386人が、2015年に57255人と15%減少し、2025年の人口が48777人と予測され、2005年→2025年の間に28%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に6%減少し、2015年から2025年にかけて10%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

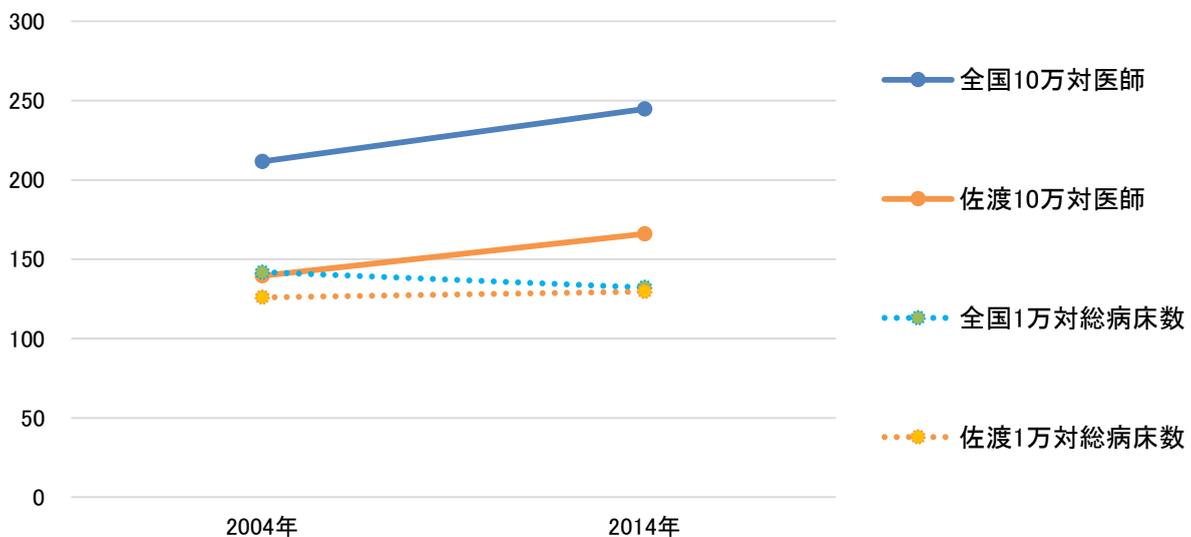
2004年の病院数が6(人口10万人当たり8.9病院(全国平均7.1)偏差値55)であったが、2014年に6(人口10万人当たり10.5病院(全国平均6.7)偏差値59)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が41(人口10万人当たり61診療所(全国平均76)偏差値42)であったが、2014年に38(人口10万人当たり66診療所(全国平均79)偏差値43)と、3診療所が減少した。

2004年の総病床数が849床(人口1万人当たり126(全国平均142)偏差値47)であったが、2014年に742床(人口1万人当たり130(全国平均132)偏差値50)と、107床の減少、率にして13%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

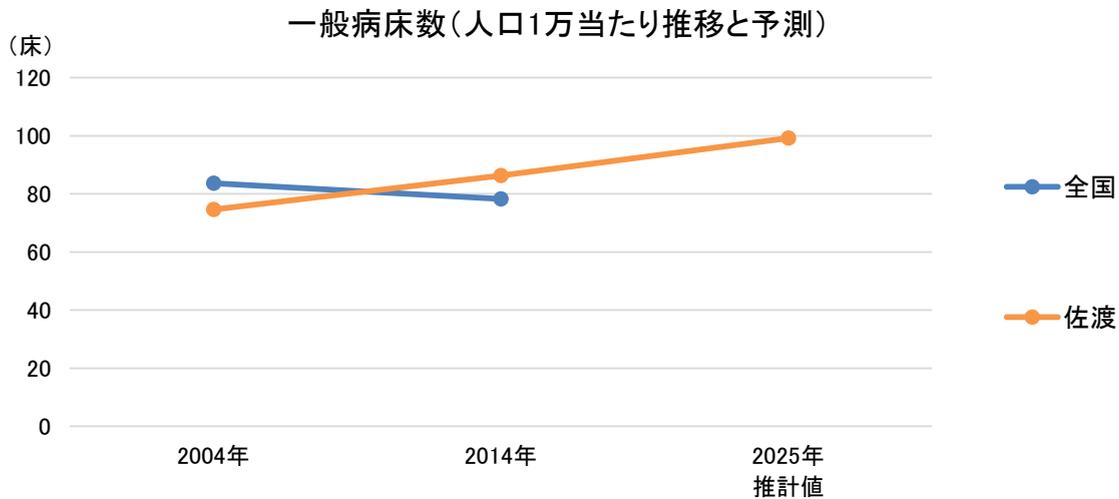
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が94人(人口10万人当たり139人(全国平均212人)偏差値41)であったが、2014年に95人(人口10万人当たり166人(全国平均245人)偏差値42)と、1人の増加、率にして1%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



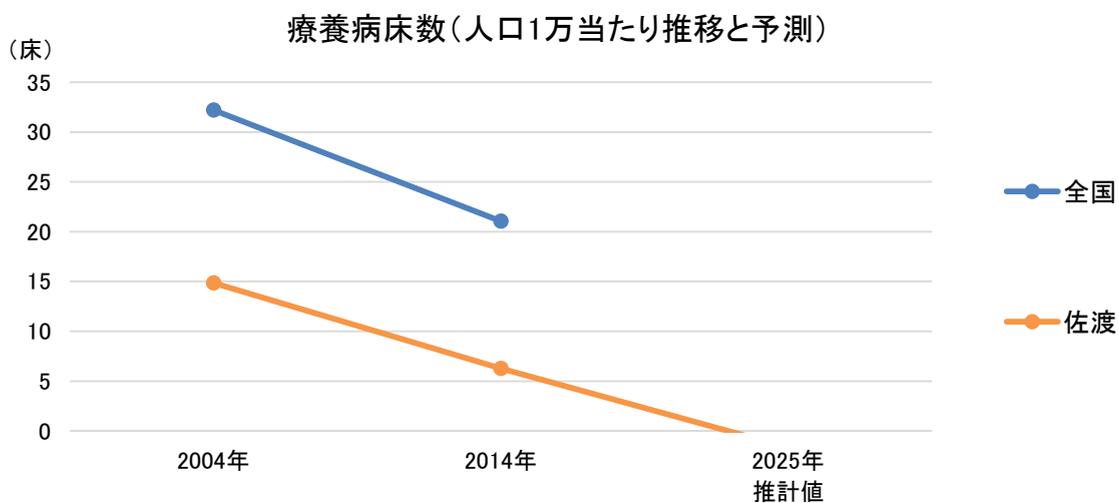
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が503床(人口1万人当たり75(全国平均84)偏差値47)であったが、2014年に494床(人口1万人当たり86(全国平均78)偏差値53)と、9床の減少、率にして2%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には484床(2025年の推計人口1万人当たり99)になることが予想される。



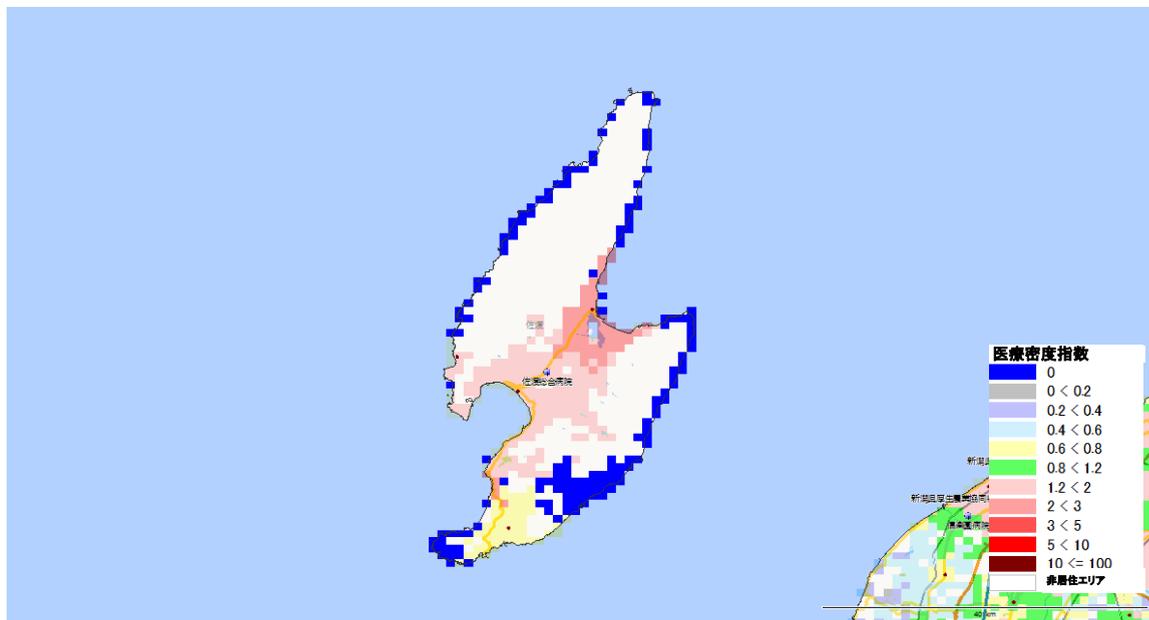
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が184床(75歳以上1000人当たり15(全国平均32)偏差値40)であったが、2014年に86床(75歳以上1000人当たり6(全国平均21)偏差値37)と、98床の減少、率にして53%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には-22床(2025年の推計75歳以上1000人当たり-2)になることが予想される。



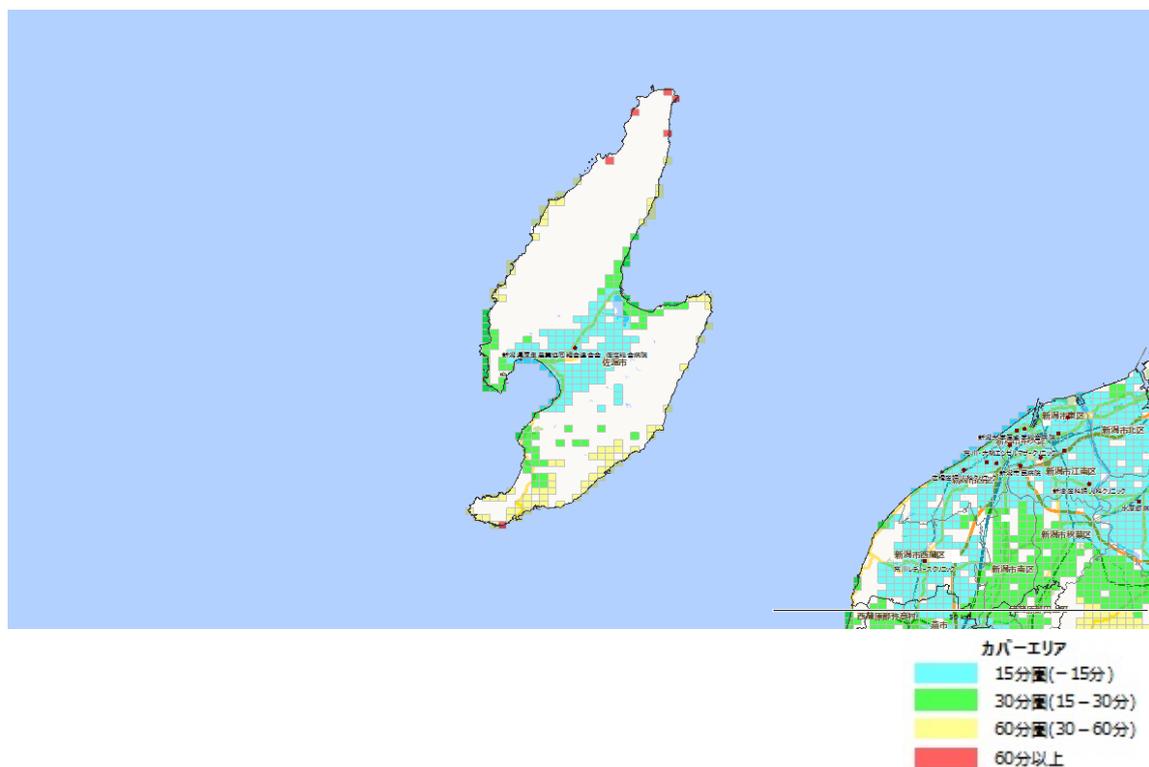
(佐渡医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表15-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表15-7-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



注

¹1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

²その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

³【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数(平成27年病院報告(厚生労働省 平成27年10月))と診療所医師数(平成26年医療施設調査(厚生労働省 平成26年10月))の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成26年12月)に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

⁵急性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

⁶日医総研WP no.375「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集(2016年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

⁷医療費は市町村国民健康保険のみ。複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

複数医療圏にまたがる広域連合の介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

⁸医療需要は(0~64歳人口) + (65~74歳人口) × 3.1 + (75歳以上人口) × 5.0で算出。

⁹日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。